

# ギリシア神話 Greek Mythology……オリンポス12神と英雄たちの物語。ヨーロッパ文学・美術の源泉。

## A 天地創造と神々の物語(1 \_\_\_\_\_ 『神統記』)

### ① 天地創造と巨神族の支配

天空神ウラノスは、息子の巨神族クロノスに倒される。クロノスは、自分も息子に殺されるという予言を恐れ、生まれてくる子どもたちを次々に食べる。



### ② ゼウスの勝利とオリンポス12神の支配

クロノスの末子雷神<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ は、父を倒して天空を治め、<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ 12神の主神となる。ゼウスの子どもには予言と太陽の神<sup>4</sup> \_\_\_\_\_、知恵の女神アテナがいる。ゼウスに誘拐されたフェニキアの王女エウロペは、クレタ島へ渡ってミノス王を生んだ。



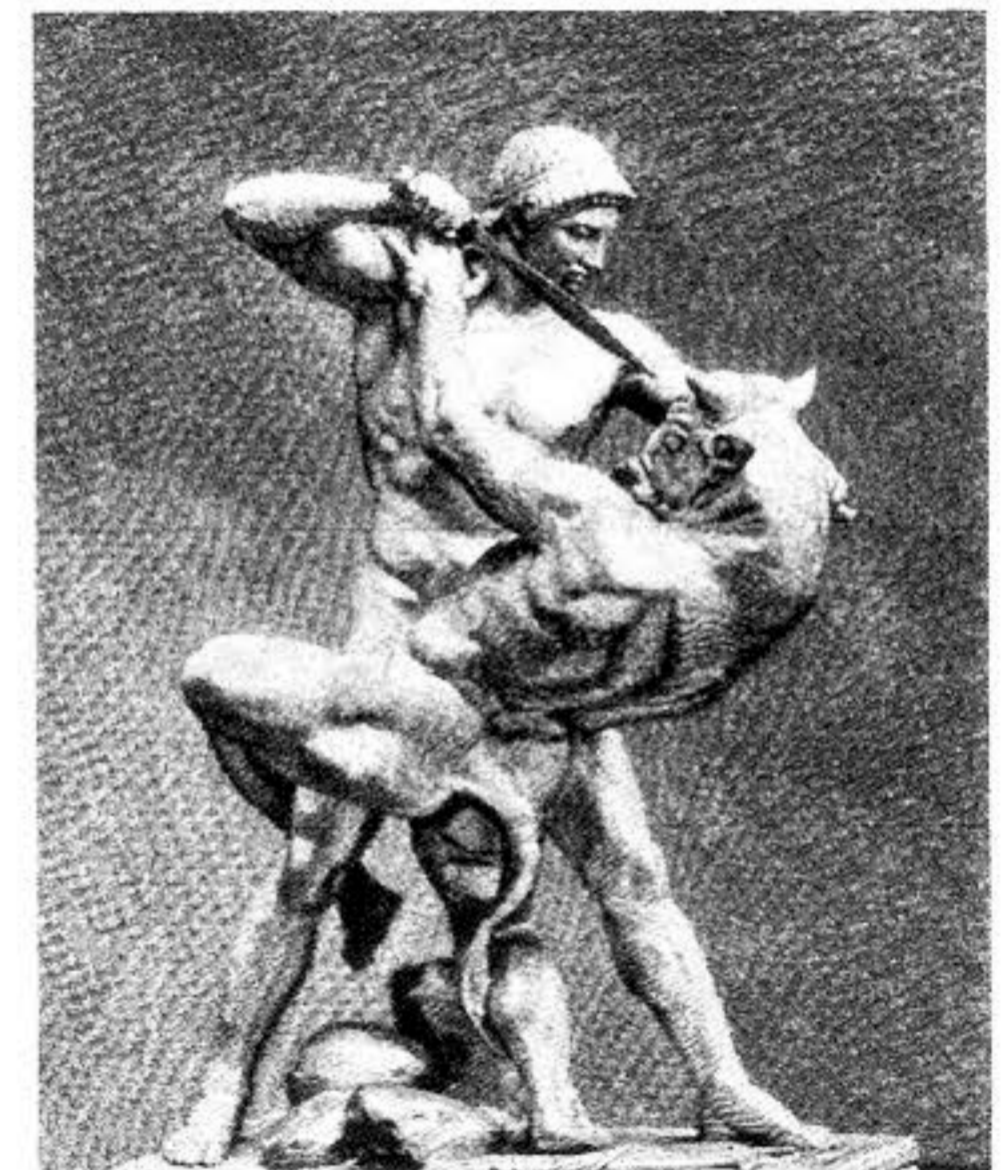
ゼウス



アポロン

### ③ 大洪水とギリシア人の誕生

人間の墮落を怒ったゼウスは、大洪水を起こす。デウカリオンと妻だけは箱舟に乗って難を逃れ、息子ヘレンが生まれた。ギリシア人はヘレンの子孫(<sup>5</sup> \_\_\_\_\_)であり、それ以外の異民族(<sup>6</sup> \_\_\_\_\_)とは異なる。



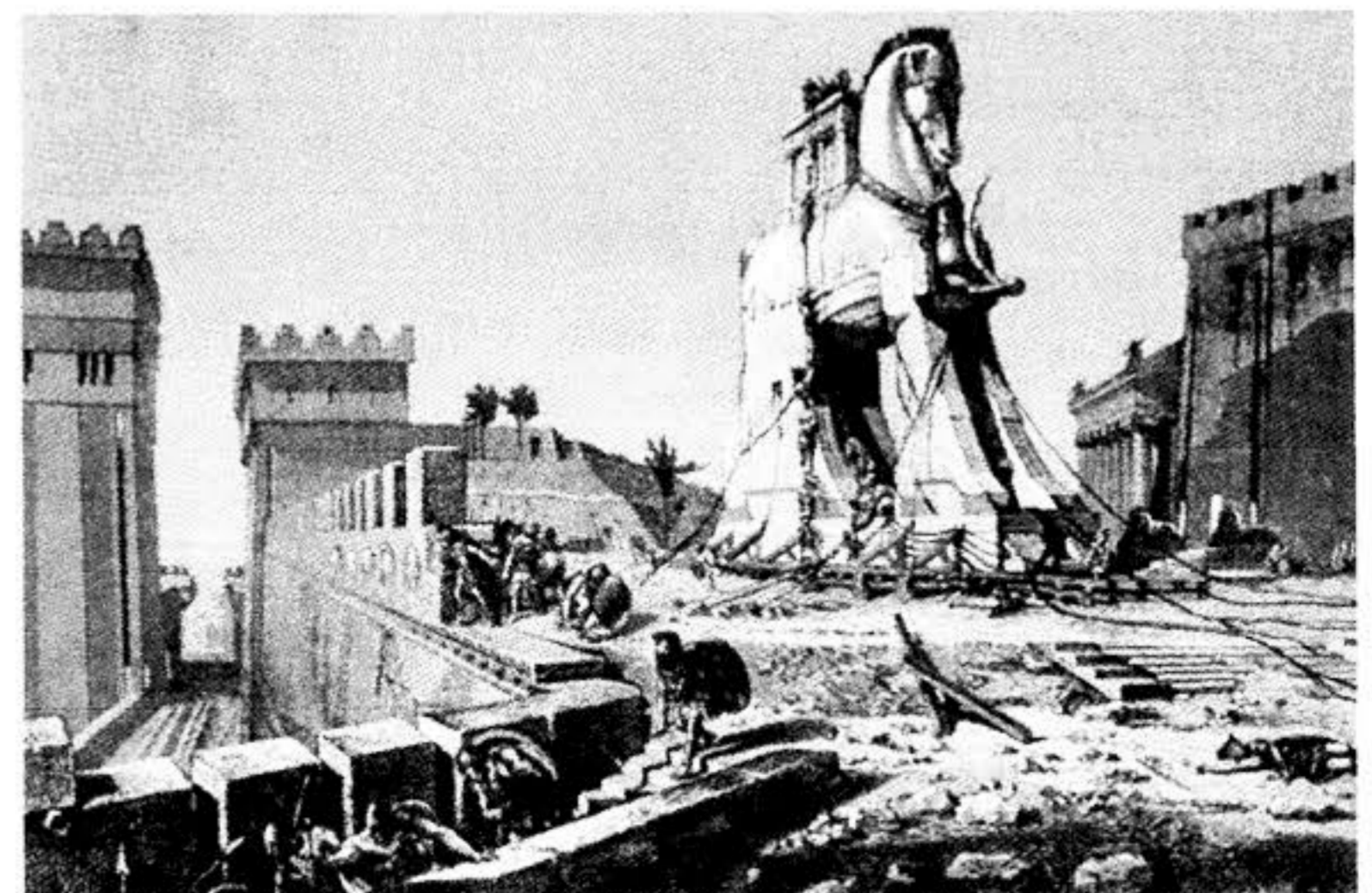
## B 英雄たちの物語

### ④ ミノス王の迷宮と、怪物ミノタウロス

クレタ王ミノスの妃は雄牛に恋をし、怪物ミノタウロスを生む。王はこれを恥じ、迷宮(ラビリントス)に怪物を隠す。やがて、アテネの若者たちを怪物の生贄いけにえにすることを要求する。アテネの王子テセウスは、志願してクレタへ渡り、ミノタウロスを倒してアテネを救い、王となった。

### ⑤ トロヤ(トロイヤ)戦争 (<sup>7</sup> \_\_\_\_\_ の叙事詩『イリアス』)

- ・トロヤの王子パリスが、スパルタを訪問。スパルタ王妃ヘレネをさらって逃げる。
- ・スパルタ王は、兄のミケーネ王アガメムノン、10万のアカシア軍(ギリシア軍)とともにトロヤを攻める。戦いは10年に及ぶ。
- ・アカシアの勇者アキレウスは、パリスの兄ヘクトールを倒す。アキレウス自身もパリスに急所のかかとを射られて死ぬ。
- ・アカシア軍の知将オデュッセウスは、巨大な木馬もくばの中に兵士を隠してトロヤ城内に潜入させ、トロヤを落城させる。



# 古代ギリシア①

☆エーゲ文明：ギリシア青銅器時代。

前20c-<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ (ミノス) 文明

- 系統不明の民族。海洋交易で繁栄。
- 首都<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ の“迷宮”を英人<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ が発掘(1900)。
- 絵文字⇨線文字A (未解読)。

前16c-<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 文明

- <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ 人=ギリシア人第1波。
- ペロポネソス半島に城塞遺跡を残す。(ミケーネ・ティリンス・ピュロスなど)
- 独人<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ が発掘(1870s)
- ⇨伝説の<sup>7</sup> \_\_\_\_\_ 戦争の存在を証明。
- 線文字Bで<sup>8</sup> \_\_\_\_\_ 語を表記。
- ⇨英人<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ が解読。

古  
バ  
ビ  
ロ  
ニ  
ア

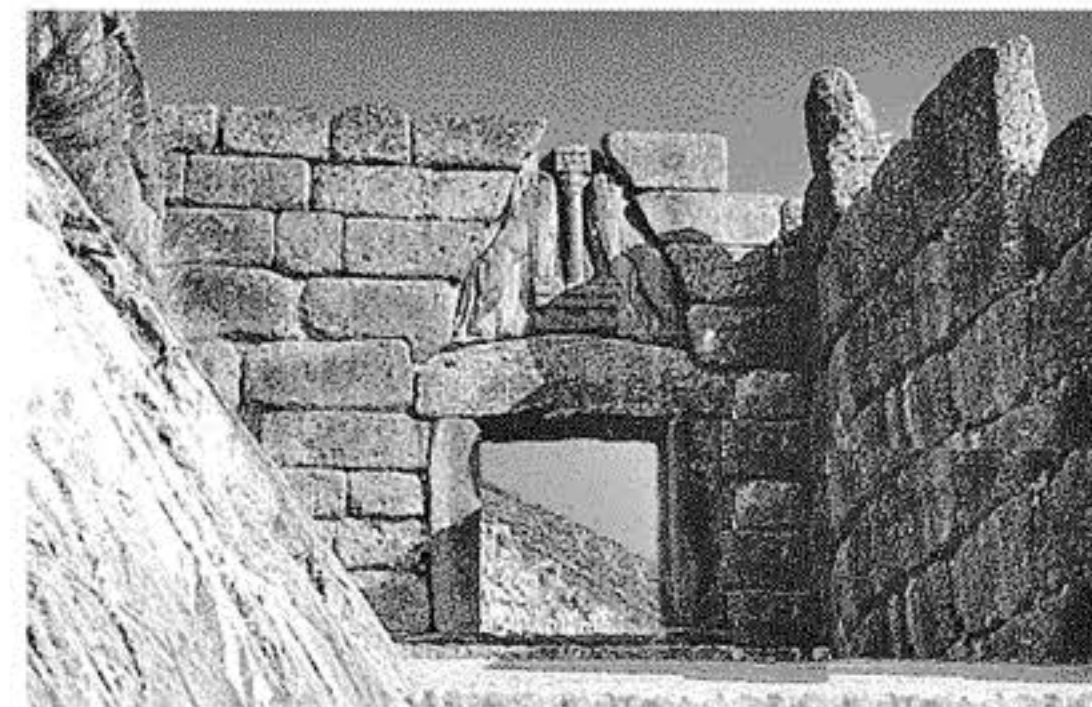
ヒ  
ツ  
タ  
イ  
ト  
王  
国



▲ クノッソス宮殿



▲ 線文字A



▲ ミケーネの獅子門

前12c- 鉄器時代：<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 人=ギリシア人第2波が侵入、ミケーネ文明を破壊。

<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ (ラケダイモン)

- ドーリア人がラコニア地方に建設。
- <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ の立法 (軍国主義)。
- (<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ : ドーリア人の商工業者)
- (<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ : アカシア人の農業奴隷)

⇨アカシア人の東方移住。方言の形成。

- (<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 人：小アジア北西岸へ。
- (<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 人：小アジア西岸へ。

前8c- 大植民時代。

- 地中海、黒海沿岸に植民市を建設。
- <sup>24</sup> \_\_\_\_\_ (イスタンブル)
- <sup>25</sup> \_\_\_\_\_ (ターラント)
- <sup>26</sup> \_\_\_\_\_ (ナポリ)
- <sup>27</sup> \_\_\_\_\_ (マルセイユ)

前8c ポリス (都市国家) の成立。

- ⇨軍事拠点への<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ (シノイクスモス)
- くじ引きで私有地 (クレーロス) を分配。
- ⇨城山 (アクロポリス) と広場 (<sup>18</sup> \_\_\_\_\_)

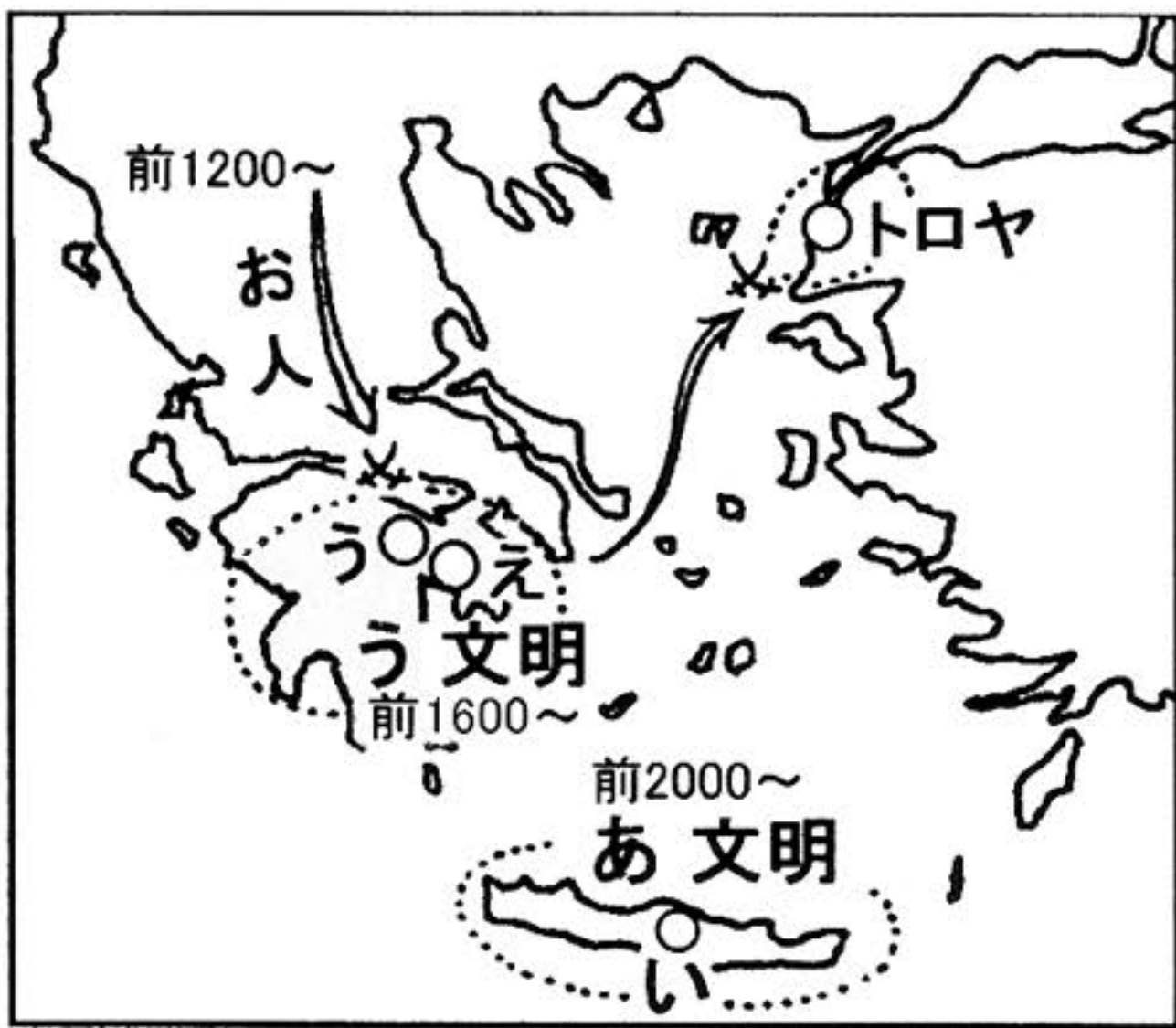
☆ギリシア人は異民族 (<sup>19</sup> \_\_\_\_\_) に対し、

自らをヘレネスと称して、民族的一体感を保つ。

- <sup>20</sup> \_\_\_\_\_ のトロヤ戦争叙事詩『イリアス』
- <sup>21</sup> \_\_\_\_\_ 12神への信仰。
- 祭礼の際、近隣ポリスが協力しあう隣保同盟。<sup>りんぼ</sup>
- <sup>22</sup> \_\_\_\_\_ の神託<sup>しんたく</sup> : 太陽神アポロンのお告げ。
- <sup>23</sup> \_\_\_\_\_ 競技 : 主神ゼウスを讃える祭典。

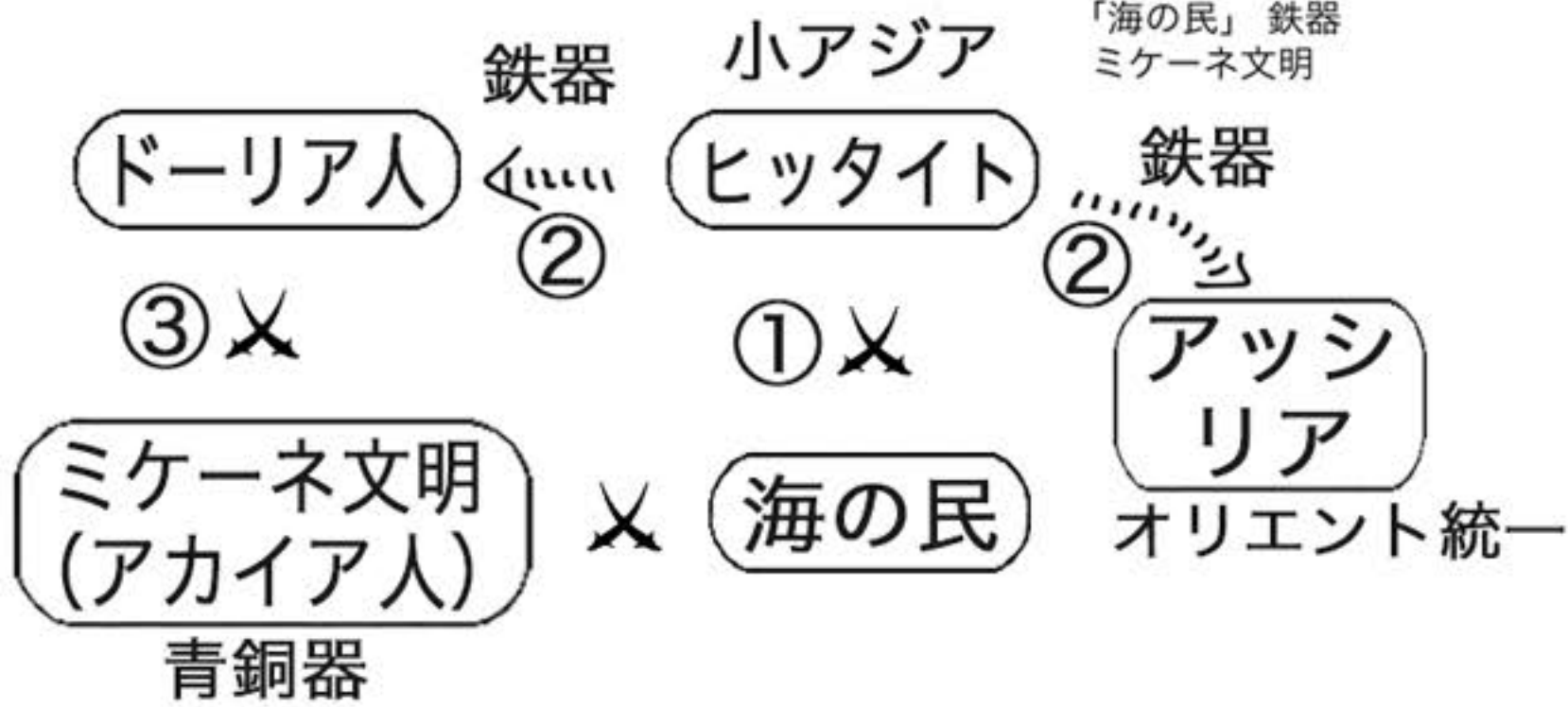


▲ アテネのアクロポリス



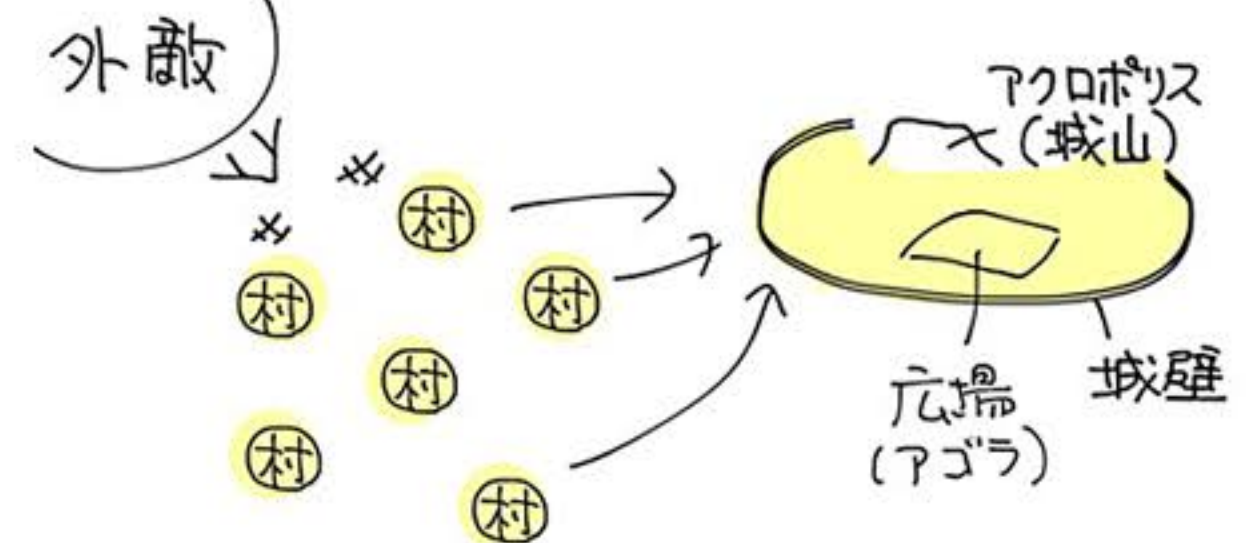
あ.クレタ い.クノッソス う.ミケーネ え.ティリンス お.ドーリア か.スパルタ き.イオニア  
 く.アテネ け.アイオリス こ.テーベ A.オリンポス B.デルフィ C.オリンピア

### 前1200頃の民族移動



問 前1200年頃の東地中海で起こった民族移動の結果について、以下の語句を用いて、90字以内で説明せよ。  
 「海の民」 鉄器 ミケーネ文明

### 集住 (ポリスの形成)



問 前8世紀以降のポリスの形成と、ギリシア人意識の形成について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。  
 軍事拠点 オリンピア バルバロイ

### オリンポス12神



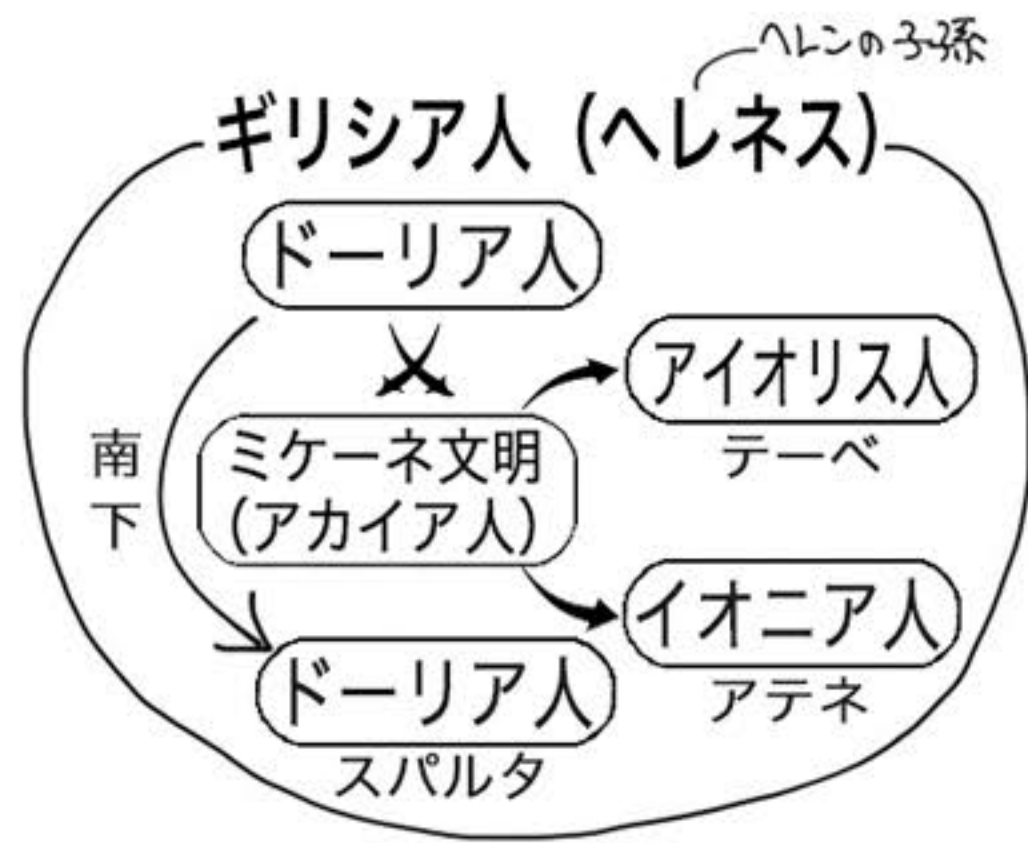
主神ゼウス  
 オリンピア競技



太陽神  
 アポロン  
 デルフォイの神託



知恵の女神  
 アテナ  
 アテネの守護神



異民族 (バルバロイ)  
 リディア人  
 フェニキア人  
 エジプト人

### 古代ギリシア①

- 1 クレタ(ミノス)
- 2 クノッソス
- 3 エヴァンズ
- 4 ミケーネ
- 5 アカイア
- 6 シュリーマン
- 7 トロヤ

### 8 ギリシア

- 9 ヴェントリス
- 10 ドーリア
- 11 スパルタ
- 12 リュクルゴス
- 13 ペリオイコイ
- 14 ヘイロータイ (ヘロット)

### 15 アイオリス

- 16 イオニア
- 17 集住
- 18 アゴラ
- 19 バルバロイ
- 20 ホメロス
- 21 オリンポス
- 22 デルフォイ

### 23 オリンピア

- 24 ビザンティオン
- 25 タレントウム
- 26 ネアポリス
- 27 マッサリア



▲ オリンピアのゼウス神殿



▲ デルフォイのアポロン神殿

## 古代ギリシア②

☆アテネ：<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 人が<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 地方に集住、建国。守護神は女神アテナ。

前7c- 貴族政治：貴族＝重装騎兵が執政官(アルゴン)、貴族会議(アルパゴス議)を独占。

- ⇩ <sup>3</sup> \_\_\_\_\_ 王国から貨幣が伝来。ワイン輸出など商工業が発達。
- ⇩ 富裕平民は重装<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ として従軍、参政権を要求(身分闘争)
- ⇩ 貨幣経済の進展で、土地を失う農民(無産市民)も現れる。

前620-<sup>5</sup> \_\_\_\_\_ の立法：最初の成文法。貴族の慣習法を平民にも公開。

前594-<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ の改革：<sup>7</sup> \_\_\_\_\_ 政治、負債の帳消し、<sup>8</sup> \_\_\_\_\_ 奴隷の禁止。

⇨ 富裕平民の政治参加を承認。土地問題は解決されず、無産市民の不満が残る。

前561-<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ の僭主政治：無産市民を扇動し、富裕市民を追放。

⇨ 土地の分配、植民市建設で支持され、独裁権⇨子のヒッピアスは暴君化。

前508-<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ の民主政治：<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ (オストラキスマス)で僭主を防止。

⇨ 血統による4部族制を廃止。居住区による10部族制を定め、貴族制度を解体。

前500-前449 <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 戦争：アケメネス朝の<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ がギリシアへ侵攻。

前500 <sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 植民市の反乱：ペルシア軍がミレトスを破壊。

前490 <sup>14</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：ペルシア軍の上陸をアテネが撃退。

前480 テルモピレーの戦い：スパルタ軍が全滅⇨ペルシア軍、アテネを占領。

前480 <sup>15</sup> \_\_\_\_\_ の海戦：アテネの将軍<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ が三段櫂船を指揮。

⇨ ペルシア王クセルクセスの海軍を破る。船の漕ぎ手として<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ が活躍。

前479 <sup>18</sup> \_\_\_\_\_ の戦いでペルシア軍敗退。( <sup>19</sup> \_\_\_\_\_ 『歴史』に記録)

☆アテネの全盛：将軍<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ が指導。“名は民主主義だが実は一人の支配”

• <sup>21</sup> \_\_\_\_\_ : 18歳以上の全市民が参加。貴族会議に代わる最高議決機関となる。

(前451 市民権法：両親ともにアテネ出生の者に限る。女性・奴隷・外国人<sup>メイコイ</sup>を排除)

• 将軍を除くすべての官職を選挙制から<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ 制に。

☆アテネの奴隷制：人口の3分の1。家内奴隷のほか、ラウレイオン銀山で酷使。

☆<sup>23</sup> \_\_\_\_\_ 同盟：アテネ率いる軍事同盟。加盟国に貢納を義務づけ、海軍を維持。

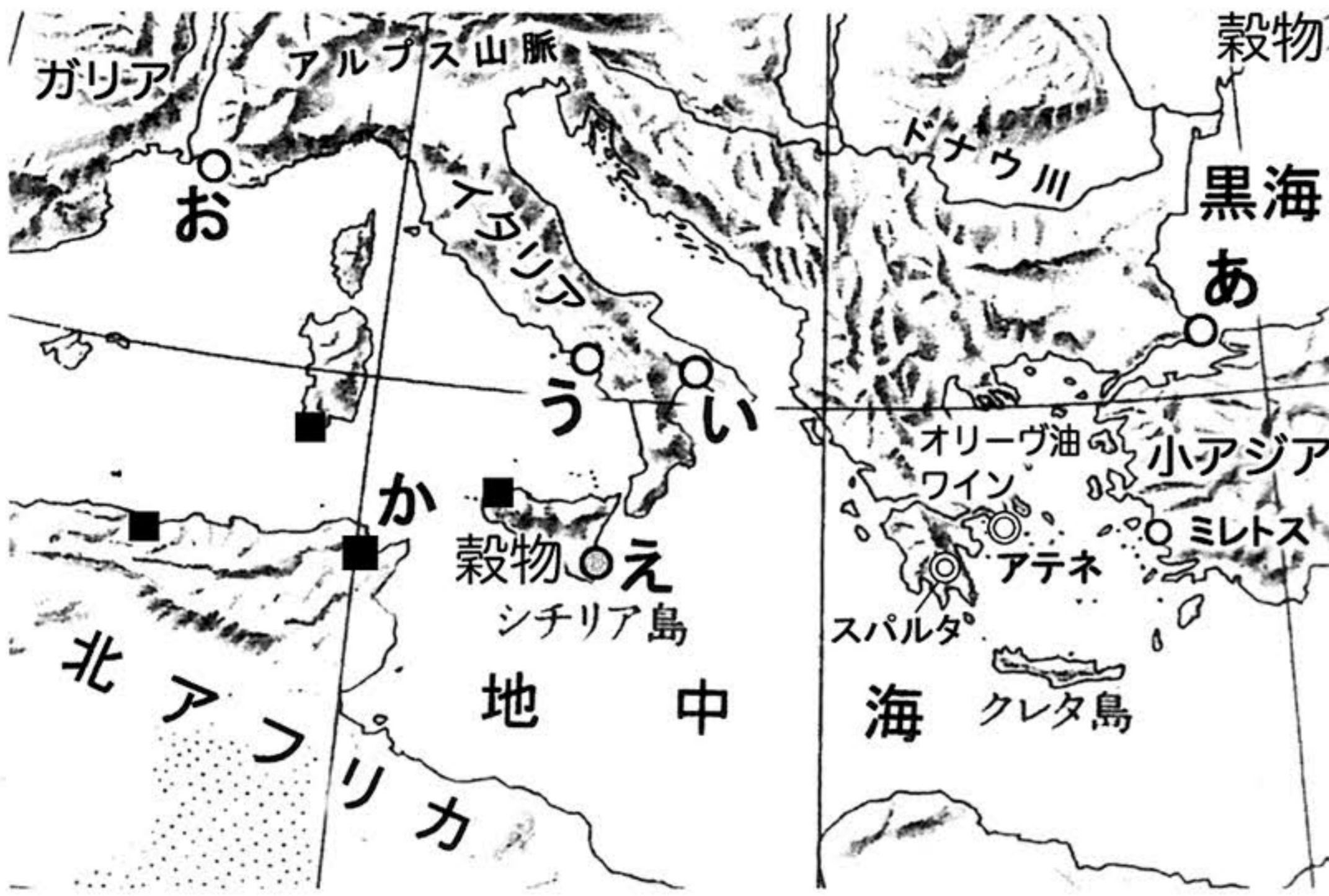
⇨ アテネが同盟資金を私物化し、事実上の“アテネ帝国”に。加盟国の不満高まる。

前431-前404 <sup>24</sup> \_\_\_\_\_ 戦争：スパルタとその同盟国が、アテネ支配に反抗。

⇨ スパルタ軍がアテネを包囲。アテネ敗北。( <sup>25</sup> \_\_\_\_\_ 『歴史』に記録)

☆<sup>26</sup> \_\_\_\_\_ 政治：戦争中の民会は扇動政治家( <sup>27</sup> \_\_\_\_\_ )に支配される。

⇨ 弁論術教師( <sup>28</sup> \_\_\_\_\_ )の活躍⇨哲学者<sup>29</sup> \_\_\_\_\_ がこれを批判、刑死。



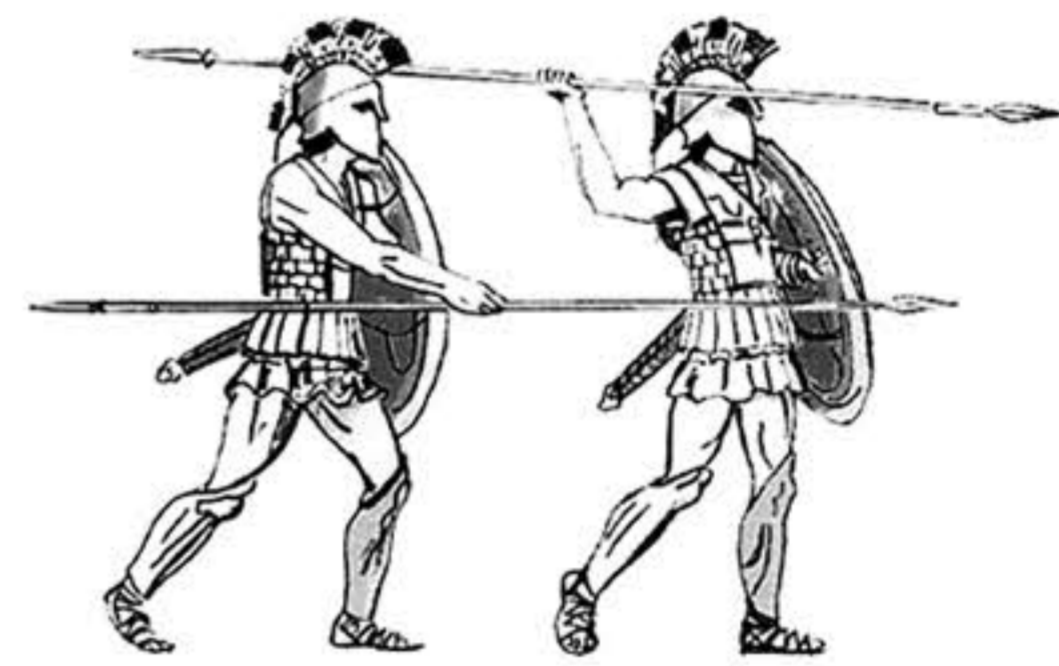
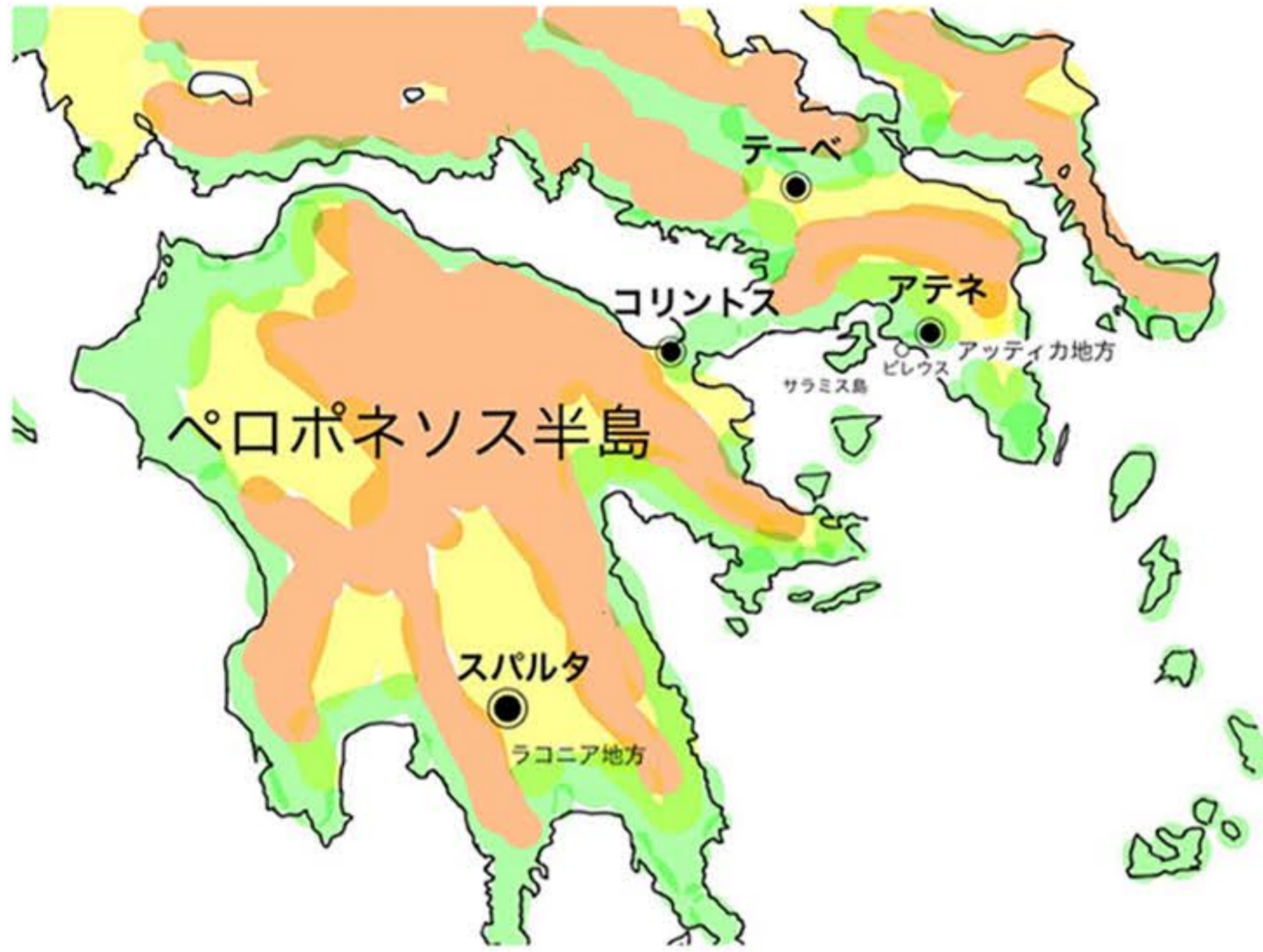
- ギリシア人植民市
- あ.ビザンティオン
- い.タレントウム
- う.ネアポリス
- え.シラクサ
- お.マッサリア
- フェニキア人植民市
- か.カルタゴ



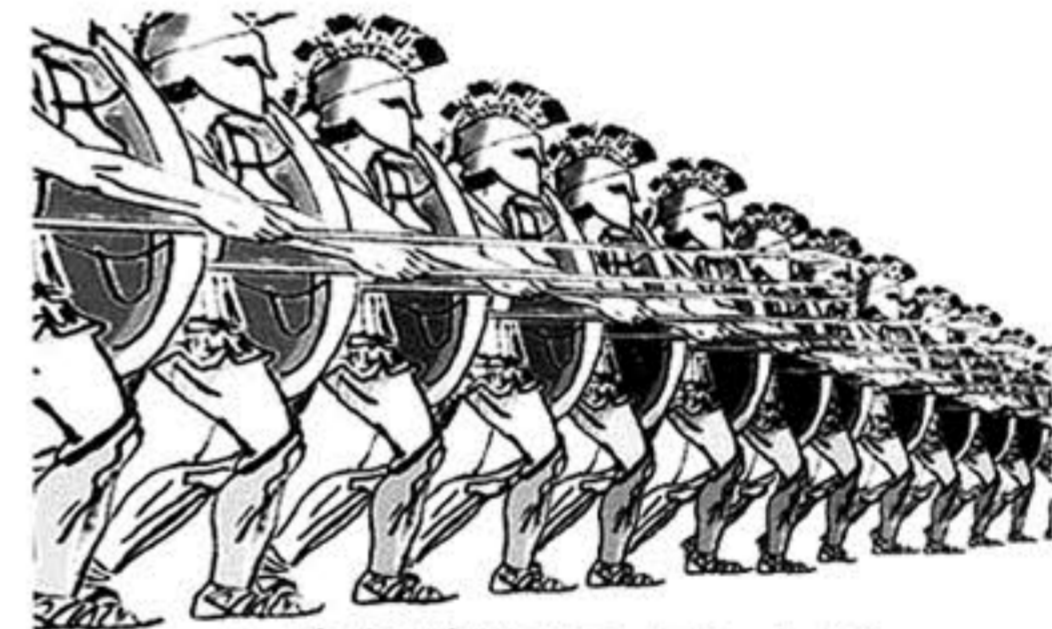
解説動画



▲ オリーブ

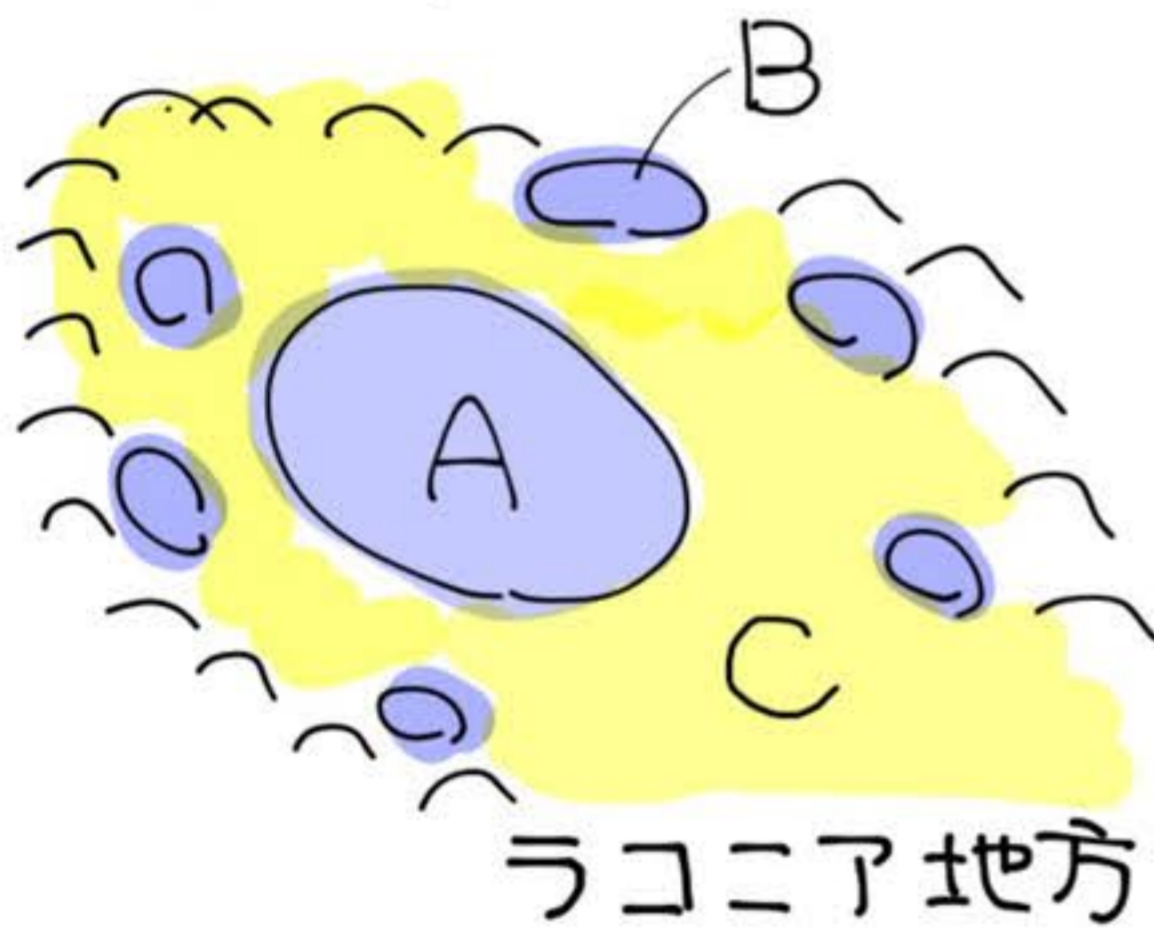


▲ 重装歩兵



▲ 密集戦法(ファランクス)

## スパルタのイメージ



## リュクルゴス体制

- ドーリア人征服者
- A.スパルタ人 (戦士) ↑ 参政権
- B.ペリオイコイ (商工業者)
- 先住民
- C.ヘイロータイ (隷属民)

↑ 兵 役

問 スパルタの国家体制を定めた人物の名と、その体制の特徴について以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

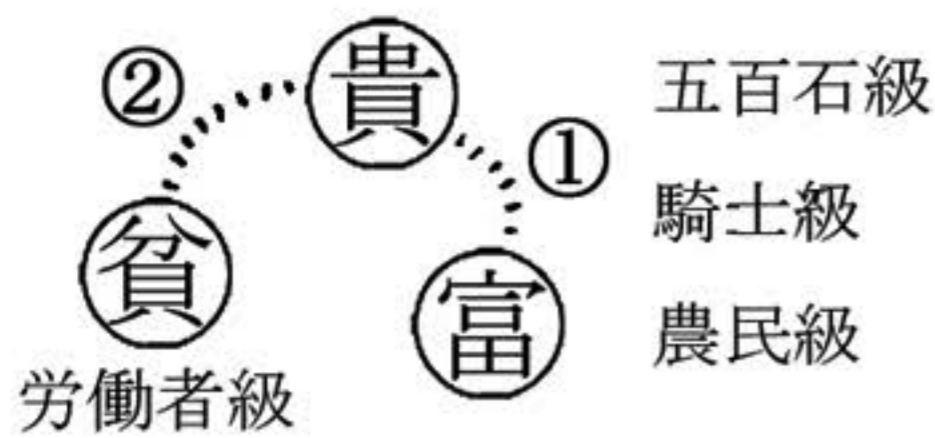
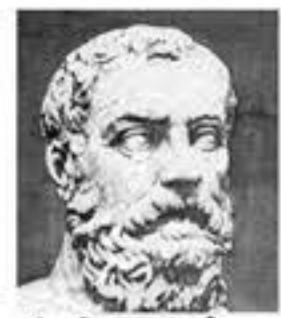
参政権 隷属民

## 古代ギリシア②

- |          |            |            |            |
|----------|------------|------------|------------|
| 1 イオニア   | 9 ペイシストラトス | 16 テミストクレス | 24 ペロポネソス  |
| 2 アッティカ  | 10 クレイステネス | 17 無産市民    | 25 トウキディデス |
| 3 リディア   | 11 陶片追放    | 18 プラタイア   | 26 衆愚      |
| 4 歩兵     | 12 ペルシア    | 19 ヘロドトス   | 27 デマゴーゴス  |
| 5 ドラコン   | 13 ダレイオス1世 | 20 ペリクレス   | 28 ソフィスト   |
| 6 ソロン    | 14 マラトン    | 21 民会      | 22 抽選      |
| 7 財産     | 15 サラミス    | 23 デロス     | 29 ソクラテス   |
| 8 さいむ 債務 |            |            |            |

# アテネの民主化

## ① ソロンの改革(前594)



- ①財産政治で富裕層に参政権を拡大。
- ②債務帳消し、債務奴隷を禁止。



## ② ペイシストラトスの僭主政治



息子ヒッピアスが暴君化。  
⇒クレイステネスに倒される。



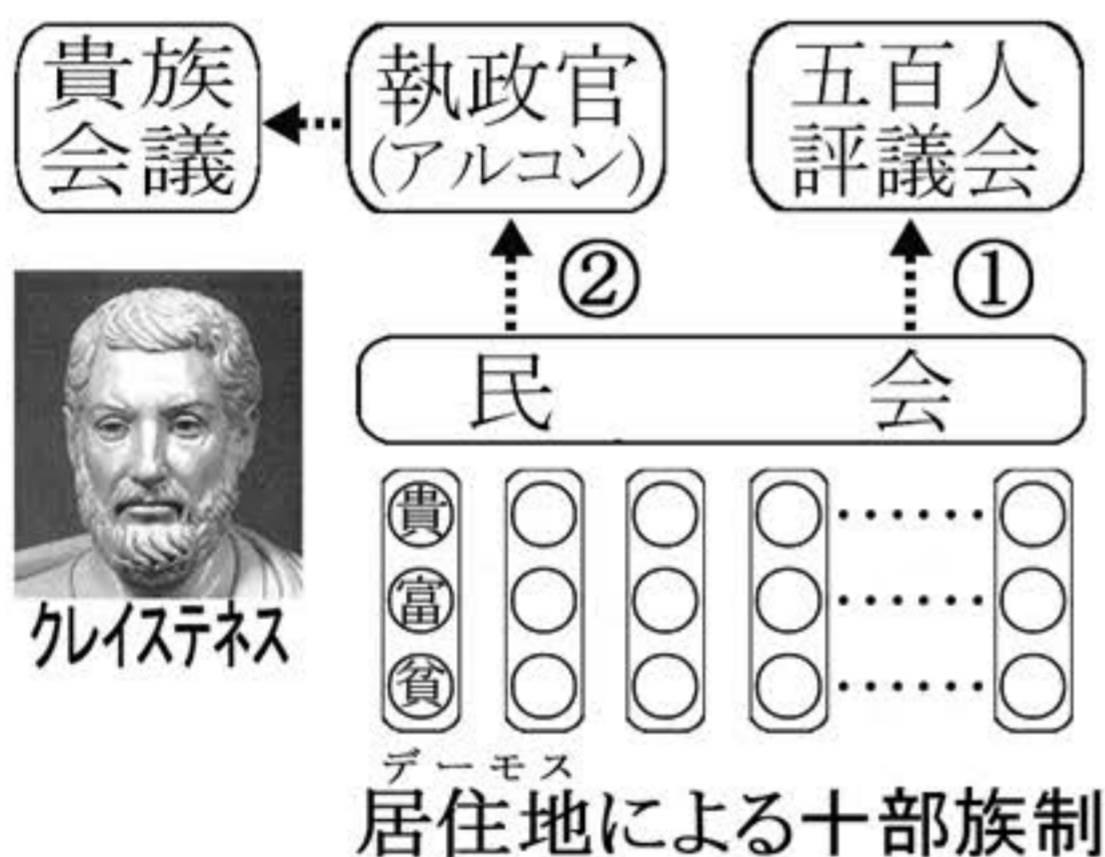
▲ ペイシストラトスのアテネ入城



▲ テトラドラクマ銀貨

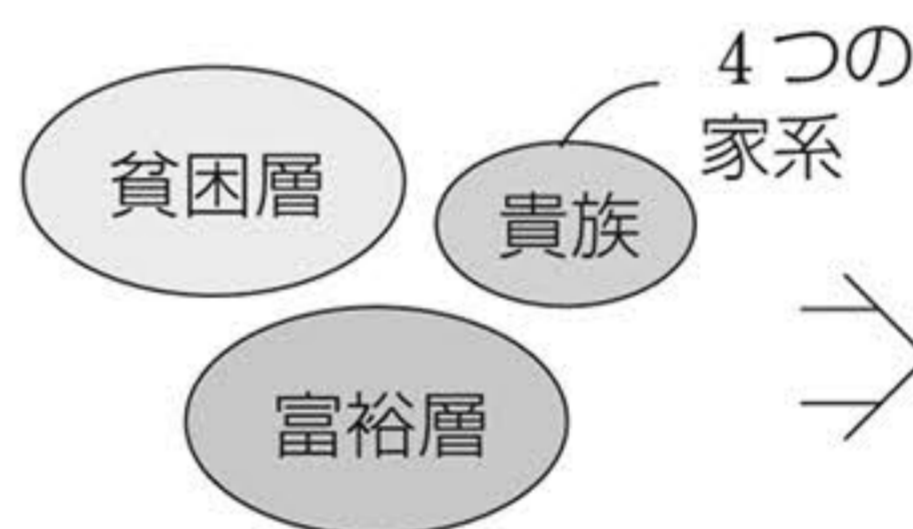
アテネ民主政治の確立について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
ソロン 僭主 10部族

## ③ クレイステネスの改革(前508)

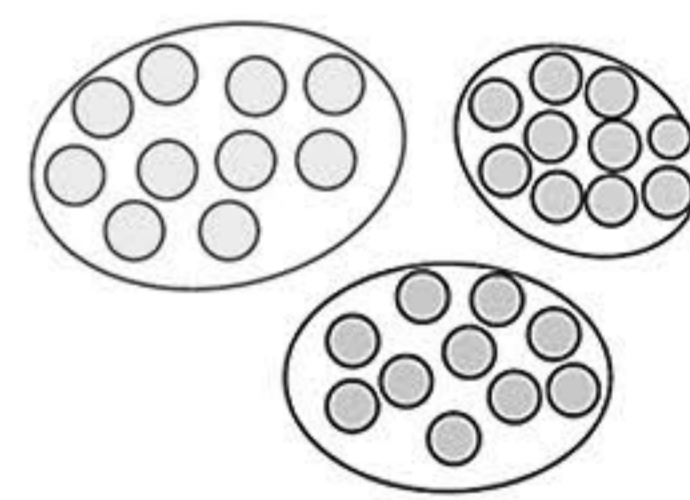


- ①各部族50人の代表が法案を先議。
- ②官職を選挙および解職(陶片追放)

血縁による4部族制



居住地による10部族制



3つのグループを居住地で10個ずつに解体し、これを組み合わせて10部族とし、民会の単位とする。



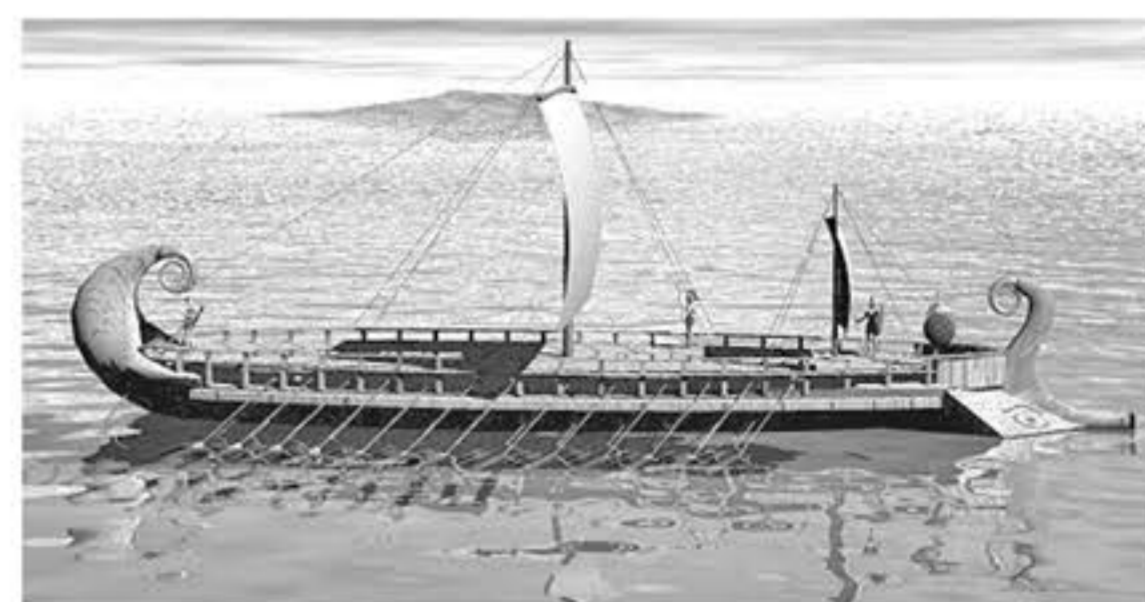
▲ 陶片(オストラコン)

## ④ ペリクレスの改革(前462-)



- ①買収可能な選挙を廃止し、無産市民でも選ばれる抽選制に。
- ②従来通り選挙により、有力者を選出。  
⇒ペリクレスが10年間連続当選。  
「名は民主主義、実は一人の支配」  
⇒ペロポネソス戦争中、ペリクレスが没し、扇動政治家が民会を左右(衆愚政治)。

ペルシア戦争後のアテネ民主政治の変容について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
三段櫂船 民会 抽選 衆愚政治



▲ 三段櫂船



▲ 演説するペリクレス

### ヘレニズム

前4c **ポリス社会の崩壊**：ポリス間の戦争で市民は土地を失う。市民兵から**傭兵制**へ。

☆<sup>1</sup> \_\_\_\_\_：アイオリス人のポリス。指導者エパメイノンダスがスパルタに反抗。

前371 **レウクトラの戦い**：スパルタを破り、以後10年間、ギリシアの覇権を握る。

☆<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ **王国**：ギリシア北方の王国。ポリスの衰退に乗じて台頭。

• <sup>3</sup> \_\_\_\_\_：マケドニア王（前359-）テーベの戦法を学び、南下を始める。

⇒アテネの指導者<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ は、マケドニアに対抗するためテーベと結ぶ。

前338 <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：マケドニアがテーベ・アテネ連合軍を破る。

⇒<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ **同盟結成**：マケドニア率いる全ポリスの軍事同盟（スパルタを除く）

• <sup>7</sup> \_\_\_\_\_ **大王**：フィリッポス2世の子。父の暗殺で即位（前336）

前334- **東方遠征**：アケメネス朝ペルシアへ侵攻⇒前334 **グラニコス川の戦い**。

前333 <sup>8</sup> \_\_\_\_\_ の戦い⇒ナイル河口に<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ 市を建設。

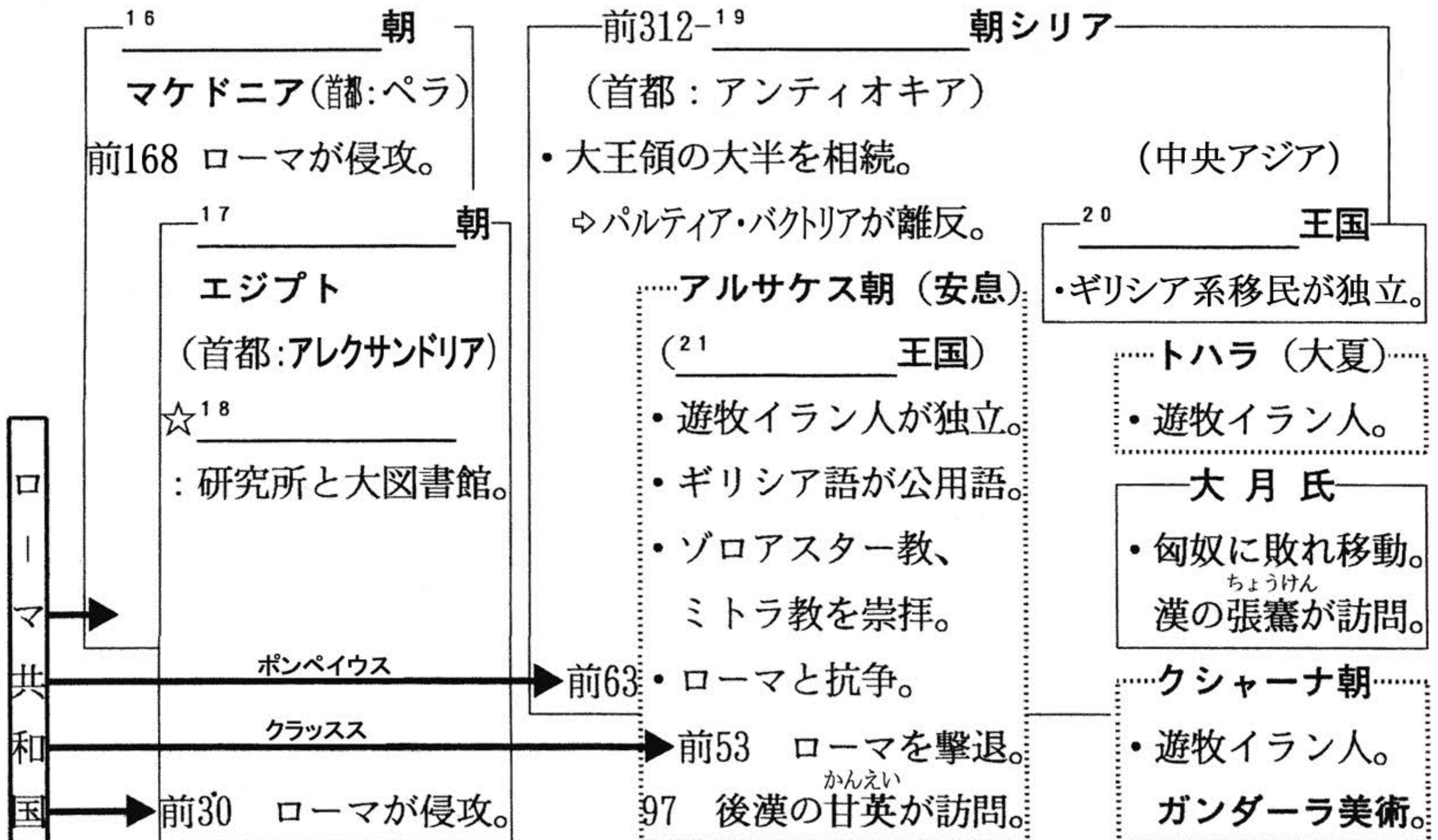
前331 <sup>10</sup> \_\_\_\_\_ の戦い⇒<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 暗殺、アケメネス朝滅亡（前330）

⇒バクトリア征服⇒<sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 川を南下⇒バビロンへ帰還。翌年、急死（前323）

前323-<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ （後継者）の抗争：**イプソスの戦い**（前301）で3国分立。

☆<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ **時代**：東方遠征からプトレマイオス朝滅亡（前30）までの 300年間。

⇒オリエント的専制政治とギリシア文化（共通語<sup>15</sup> \_\_\_\_\_）との融合。



# ペロポネソス戦争 (前431)



デロス同盟  
アテネ



アケメネス朝  
ペルシア

ペロポネソス同盟  
スパルタ



## マケドニア王国

妃オリンピアス — フィリッポス2世 — 別の妃

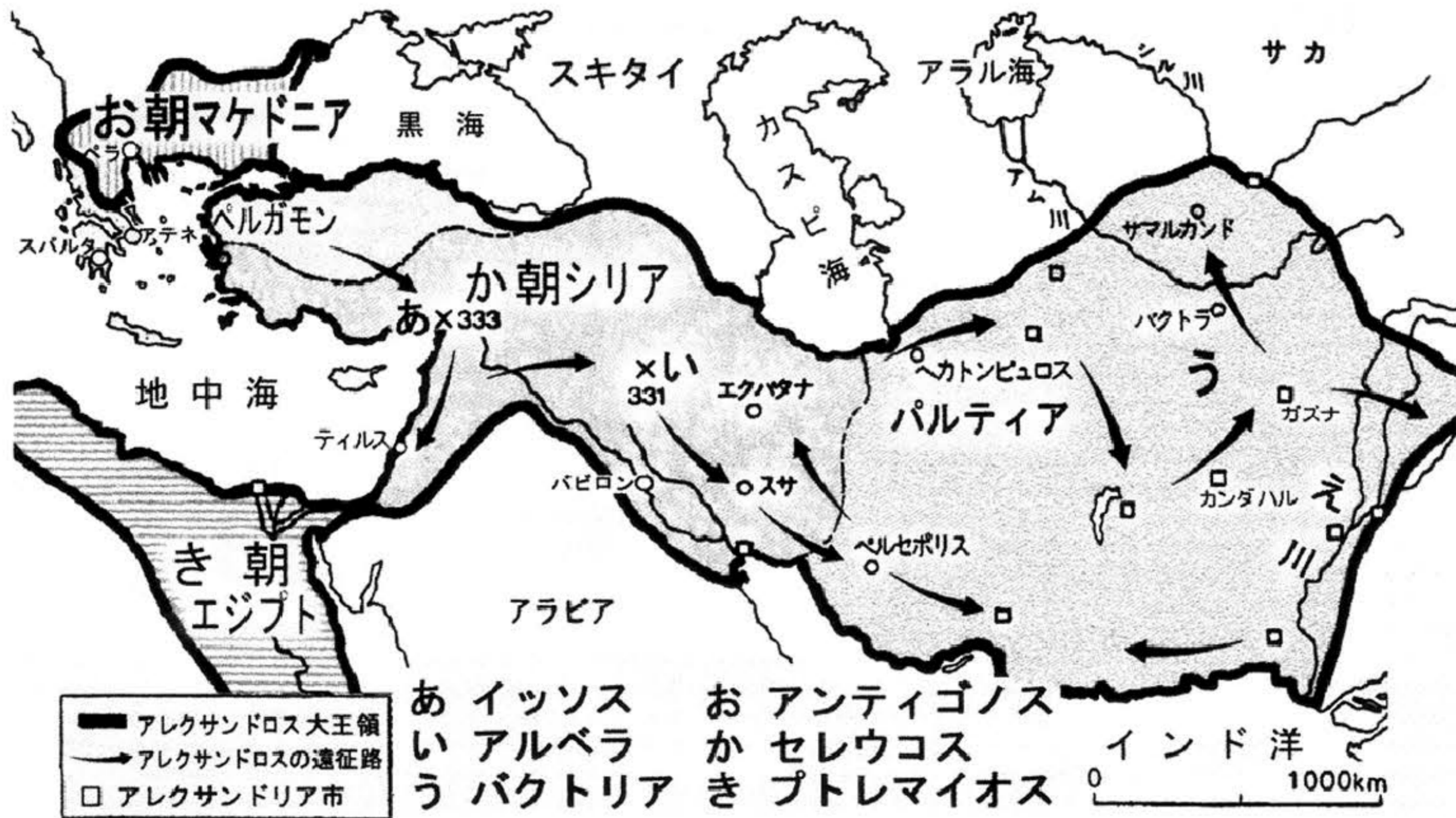
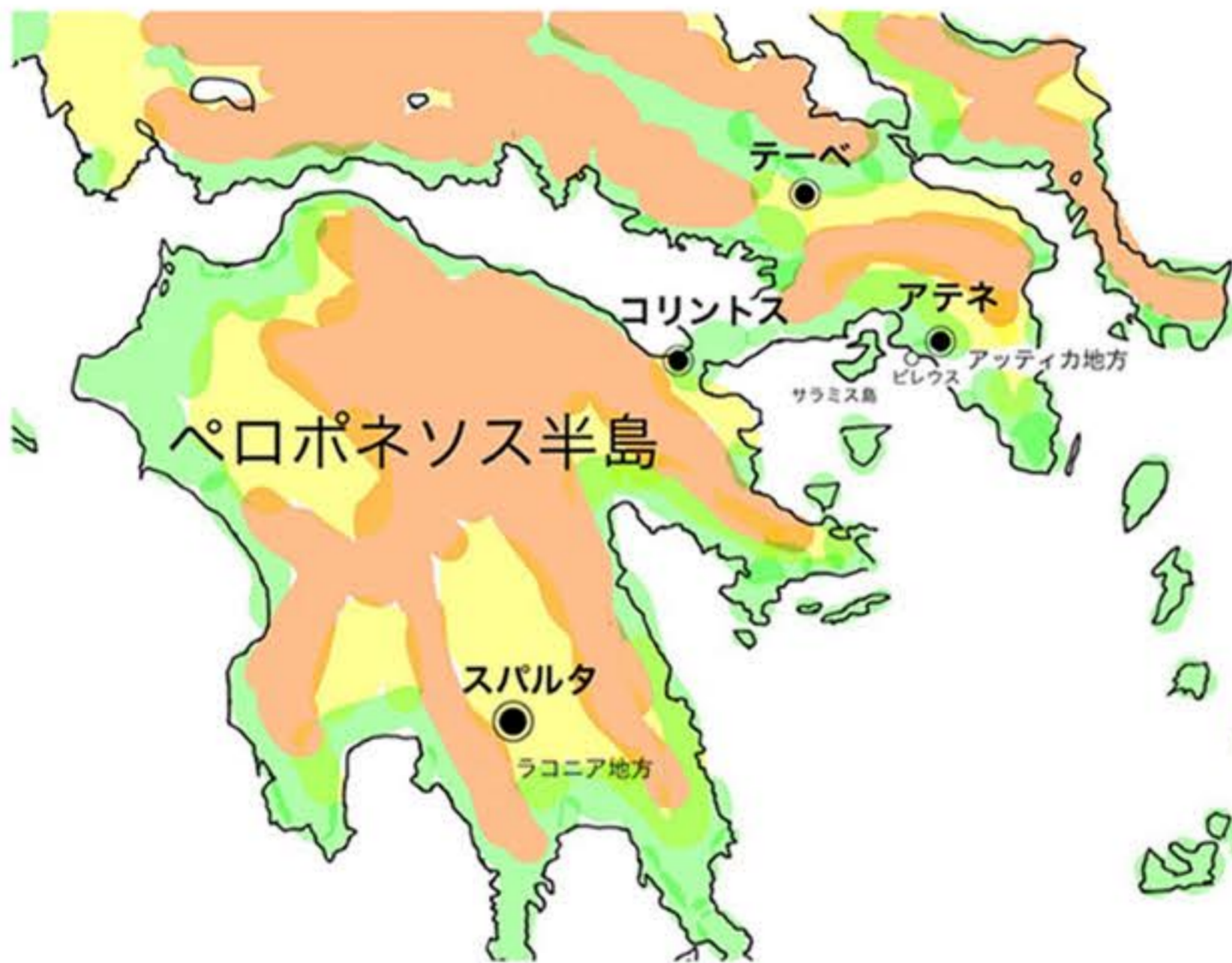


アレクサンドロス

男子



解説動画



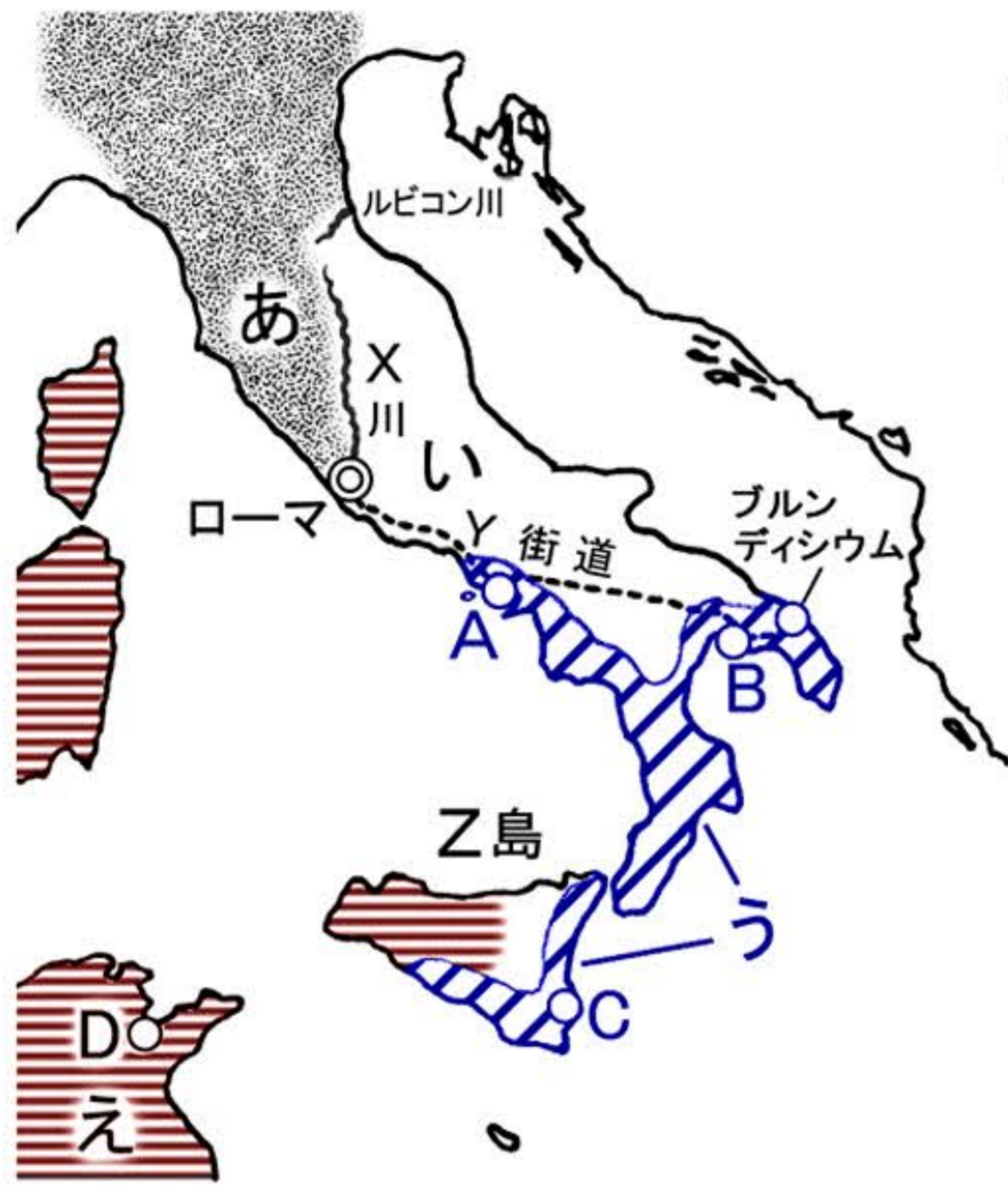
▲ アレクサンドロスの東方遠征とヘレニズム3国

### ヘレニズム

- 1 テーベ
- 2 マケドニア
- 3 フィリッポス2世
- 4 デモステネス
- 5 カイロネイア
- 6 コリントス(ヘラス)
- 7 アレクサンドロス
- 8 イッソス
- 9 アレクサンドリア
- 10 アルベラ (ガウガメラ)

- 11 ダレイオス3世
- 12 インダス
- 13 ディアドコイ
- 14 ヘレニズム
- 15 コイネー
- 16 アンティゴノス
- 17 プトレマイオス
- 18 ムセイオン
- 19 セレウコス
- 20 バクトリア
- 21 パルティア

# ローマのイタリア半島統一



- あ \_\_\_\_\_ 人
- い \_\_\_\_\_ 人
- う \_\_\_\_\_ 人
- え \_\_\_\_\_ 人
- A \_\_\_\_\_
- B \_\_\_\_\_
- C \_\_\_\_\_
- D \_\_\_\_\_
- X \_\_\_\_\_ 川
- Y \_\_\_\_\_ 街道
- Z \_\_\_\_\_ 島

あ エトルリア    い ラテン    う ギリシア    え フェニキア  
 A ネアポリス    B タレントウム    D シラクサ    D カルタゴ  
 X ティベル    Y アッピア    Z シチリア

## 古代ローマ名言集

- ・(第3回ポエニ戦争、カルタゴ陥落時に)  
わが胸を占めるものは勝者の喜びではない。いつかわがローマも、これと同じ時を迎えるであろうという哀愁なのだ。  
(スキピオ=エミリアヌス)
- ・(ポエニ戦争後、中小農民の没落を見て)  
イタリアの野に草を食む野獣さえ、自分の寝ぐらがあるのに、イタリアのために戦って斃れる人々は、家もなくさまよっている。  
(ティベリウス=グラックス)
- ・アレクサンドロスが世界を征服した歳に、私はまだ何もしていない。 (カエサル)
- ・(ルビコン渡河を命令したとき)  
賽は投げられた。 (カエサル)
- ・(暗殺される時、ブルートゥスを見て)  
息子よ、お前もか。 (カエサル)

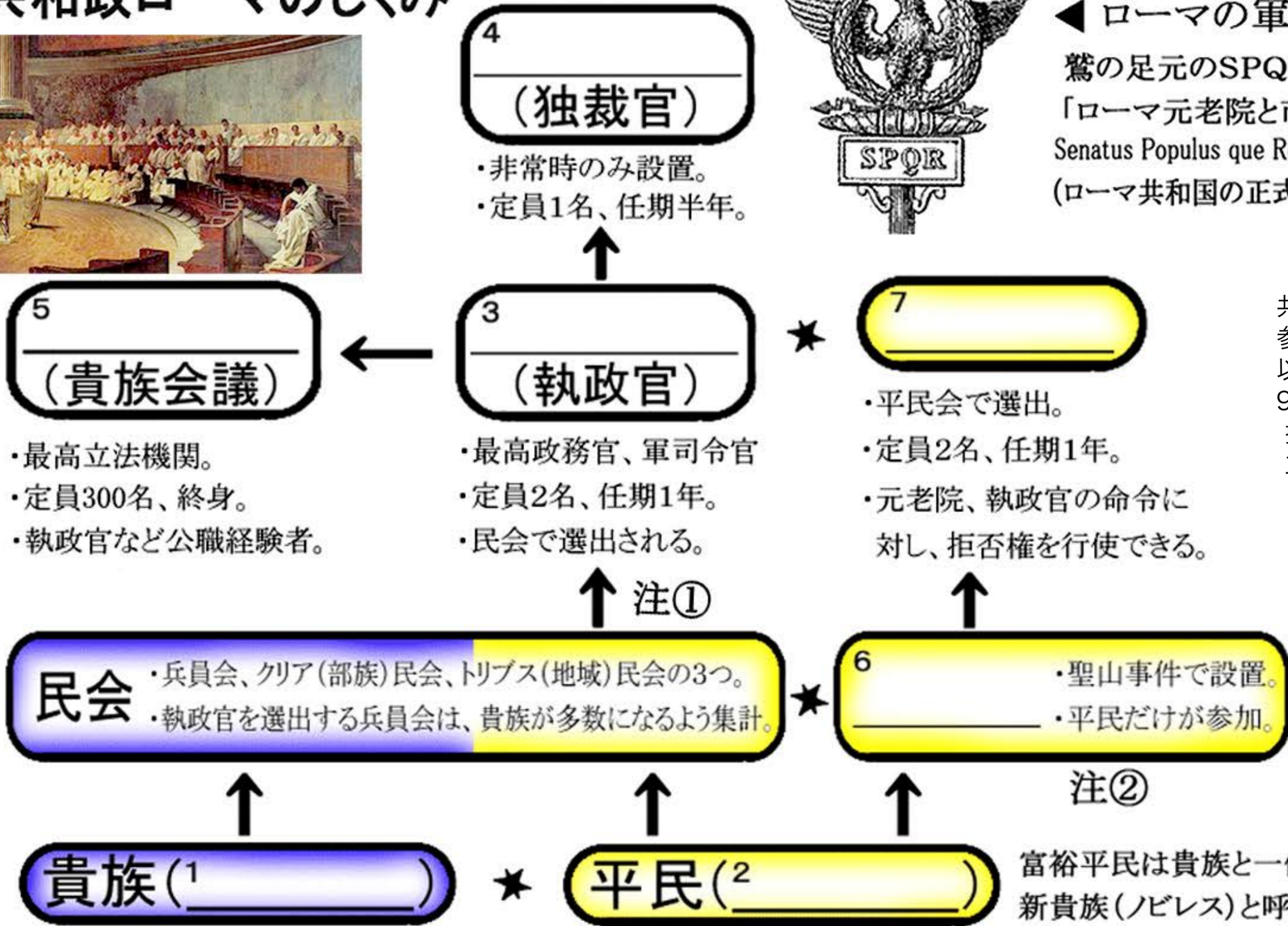
## 共和政ローマのしくみ



◀ ローマの軍旗  
 鷲の足元のSPQRは、「ローマ元老院と市民」  
 Senatus Populus que Romanus  
 (ローマ共和国の正式名称)



解説動画



注① 8 \_\_\_\_\_ 法(前367)

⇒平民1名を執政官(コンスル)に選出。

注② 9 \_\_\_\_\_ 法(前287)

⇒平民会に立法権を与え、元老院と対等に。

1 パトリキ 2 プレブス 3 コンスル

4 デイクトル 5 元老院

6 平民会 7 護民官

8 リキニウス・セクスティウス

9 ホルテンシウス

共和政ローマにおける参政権の拡大について、以下の語句を用いて、90字以内で説明せよ。  
 拒否権    リキニウス法    立法権

## 共和政ローマ①

前753 印欧系イタリア人の一派<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 人が<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 河畔にローマ市を建設。

前509 <sup>3</sup> \_\_\_\_\_ 人の王を追放⇨ラテン人貴族（<sup>4</sup> \_\_\_\_\_）による共和政。

⇨<sup>5</sup> \_\_\_\_\_（貴族会議）、<sup>6</sup> \_\_\_\_\_（執政官）、<sup>7</sup> \_\_\_\_\_（独裁官）。

平民（<sup>8</sup> \_\_\_\_\_）との身分闘争

前494 聖山事件：平民のローマ市退去。

⇨<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ 会・<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 官設置。

前450 <sup>11</sup> \_\_\_\_\_：慣習法を成文化。

前367 <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 法

①貴族の大土地所有を制限。

②<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ 1名を平民から選出。

前287 <sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 法

：<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ 会の立法権を承認。

⇨新貴族（<sup>14</sup> \_\_\_\_\_）の形成。

ローマのイタリア半島統一

エトルリア人、ケルト人、ラテン人と抗争。

前290 サムニウム戦争で中部イタリア征服。

⇨<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 街道建設：最初の国道。

⇨半島南部の<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 人諸都市を征服。

☆分割統治：征服した都市の団結防止。

・植民市：ローマ人が入植。完全市民権。

・自治市：参政権以外の市民権と軍役。

・<sup>17</sup> \_\_\_\_\_：市民権なし。軍役のみ。

前272 <sup>18</sup> \_\_\_\_\_ 占領：イタリア半島統一。

前264-前146 <sup>19</sup> \_\_\_\_\_ 戦争：フェニキア植民市<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ との西地中海争奪戦。

(経過)ローマが<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ 島を占領：最初の<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ にする。

前216 カンネーの戦い：カルタゴの<sup>23</sup> \_\_\_\_\_ 将軍がローマ軍を破る。

前202 <sup>24</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：ローマの<sup>25</sup> \_\_\_\_\_ 将軍がカルタゴ軍を破る。

⇨マケドニア戦争：ローマが、カルタゴと結んだ<sup>26</sup> \_\_\_\_\_ 朝を滅ぼす。

前146 カルタゴ滅亡（⇨ギリシア人史家<sup>27</sup> \_\_\_\_\_ 『歴史』に記録）

(結果)①属州の安い穀物が流入⇨中小農民（重装歩兵）が、<sup>28</sup> \_\_\_\_\_ へと没落。

②属州総督(貴族)や<sup>29</sup> \_\_\_\_\_ <sup>うけおい</sup>請負人(騎士=大商人)が属州経営で莫大な利益。

⇨奴隷制大農園（<sup>30</sup> \_\_\_\_\_）が出現⇨前135 <sup>21</sup> \_\_\_\_\_ の奴隷反乱。

前133-<sup>31</sup> \_\_\_\_\_ の改革：大土地所有制限、自作農再建計画⇨貴族の抵抗。

### 共和政ローマ①

<sup>1</sup> ラテン

<sup>2</sup> ティベル

<sup>3</sup> エトルリア

<sup>4</sup> パトリキ

<sup>5</sup> 元老院

<sup>6</sup> コンスル

<sup>7</sup> ディクタトル

<sup>8</sup> プレブス

<sup>9</sup> 平民 <sup>10</sup> 護民

<sup>11</sup> 十二表法

<sup>12</sup> リキニウス

・セクスティウス

<sup>13</sup> ホルテンシウス

<sup>14</sup> ノビレス

<sup>15</sup> アッピア

<sup>16</sup> ギリシア

<sup>17</sup> 同盟市

<sup>16</sup> ギリシア

<sup>17</sup> 同盟市

<sup>18</sup> タレントウム

<sup>19</sup> ポエニ

<sup>20</sup> カルタゴ

<sup>21</sup> シチリア

<sup>22</sup> 属州

<sup>23</sup> ハンニバル

<sup>24</sup> ザマ

<sup>25</sup> スキピオ

<sup>26</sup> アンティゴノス

<sup>27</sup> ポリビオス

<sup>28</sup> 無産市民

<sup>29</sup> 徴税

<sup>30</sup> ラティフンディア

<sup>31</sup> グラックス兄弟

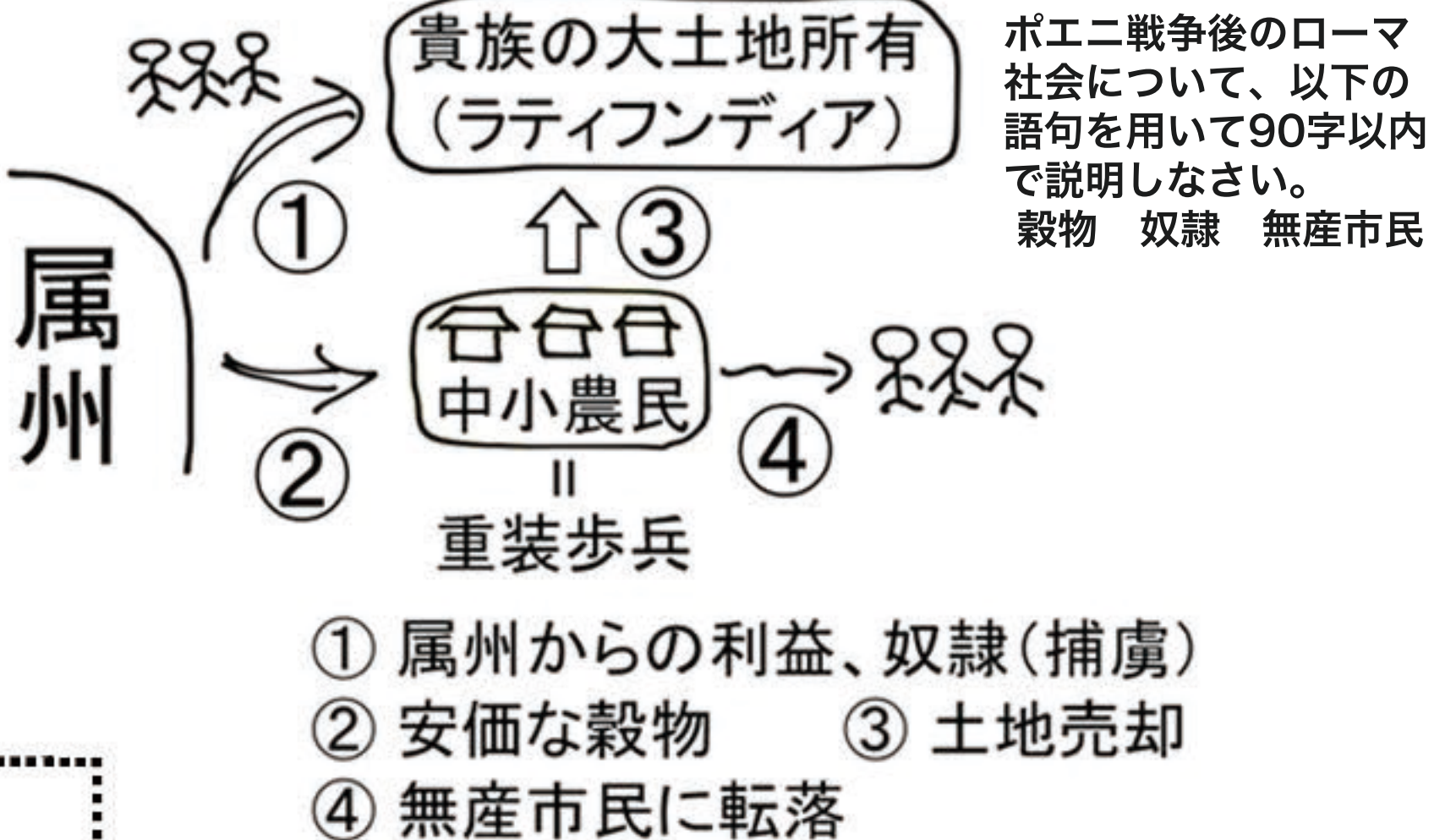
# ポエニ戦争(前264-146)



## ローマの属州支配

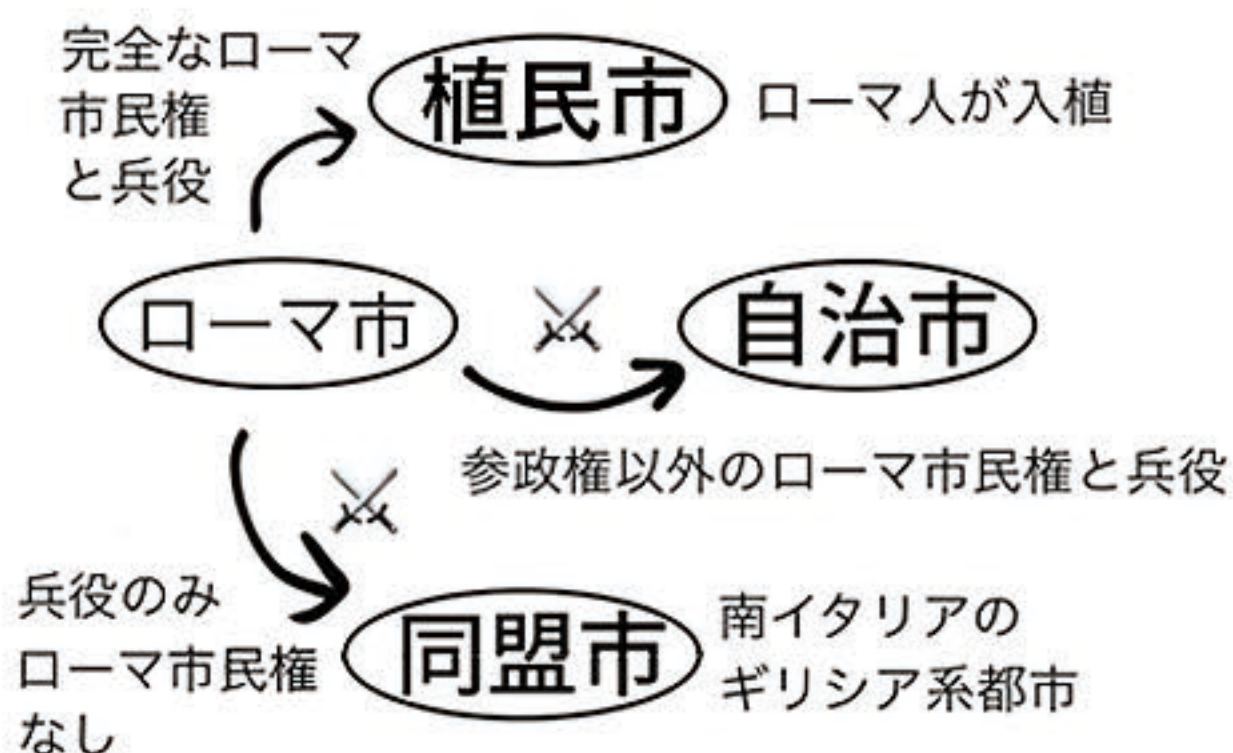


## ポエニ戦争後のローマ社会



## ローマ市民権の拡大

- ① ローマ市のみ
- ② 自治市、植民市に付与
- ③ 南伊の同盟市が市民権を要求して反乱 (前1c 同盟市戦争) ⇒ 全イタリアに拡大



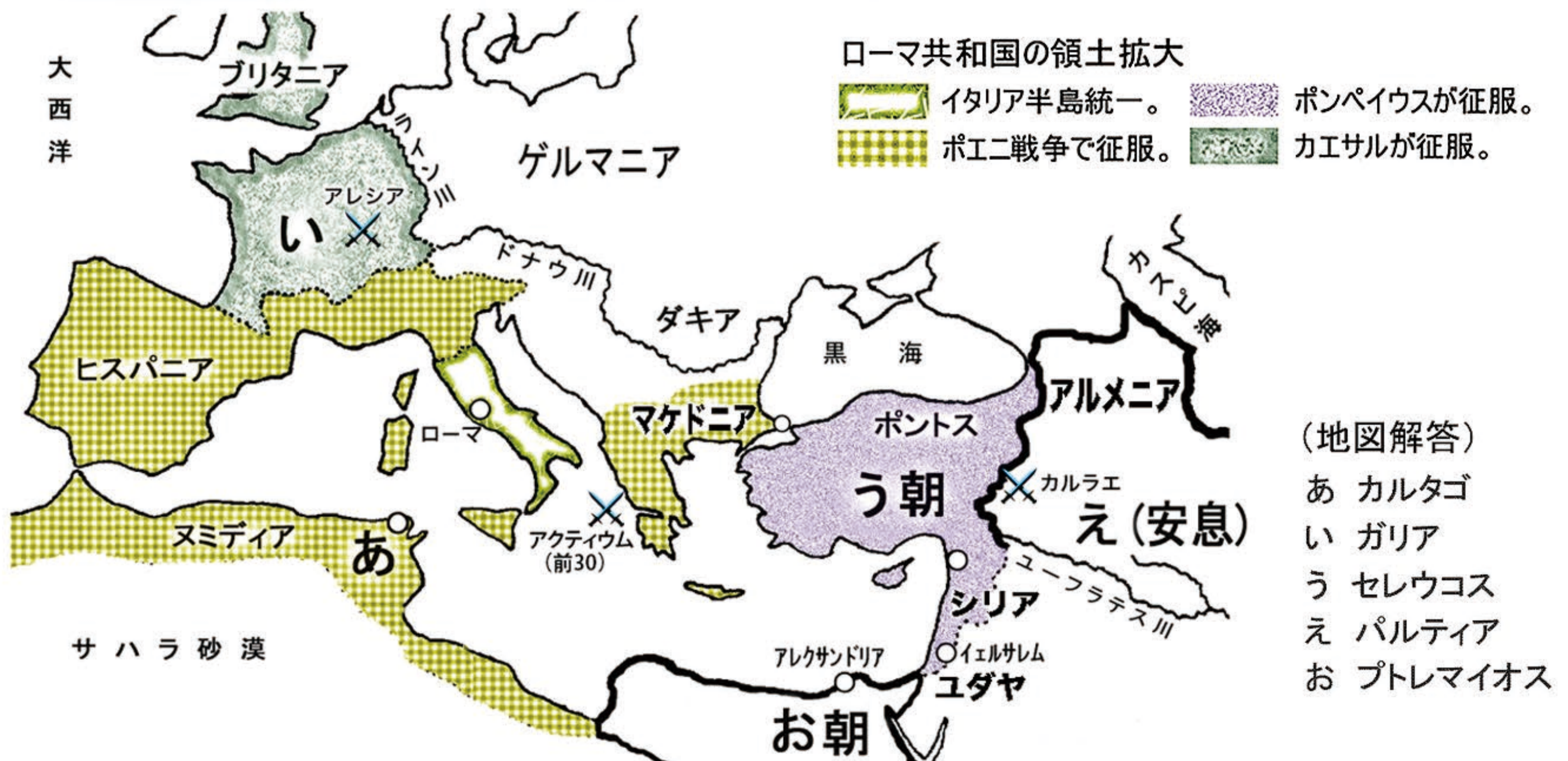
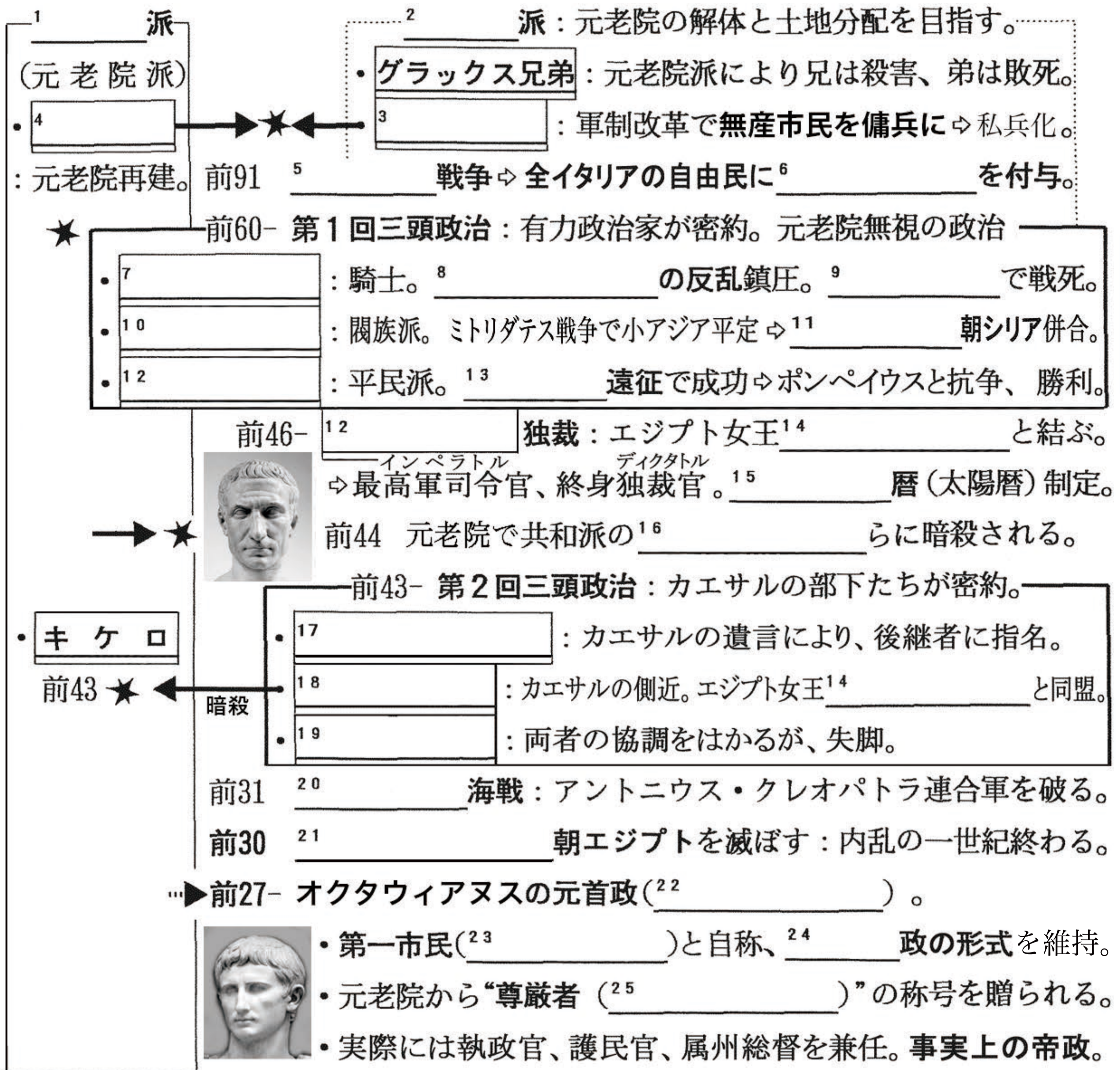
- ④ 属州民を傭兵化 ⇒ 退役後にローマ市民権
- ⑤ 属州出身の軍人が皇帝に (セウェルス、カラカラ)
- ⑥ 212 カラカラ帝の勅令 (アントニヌス勅令) ⇒ 全属州の自由民に拡大 ⇒ 軍人皇帝時代



問 古代ローマにおける市民権の拡大について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。  
 同盟市 属州民 カラカラ

## 共和政ローマ②

前1c 内乱の一世紀：有力政治家が“パンと見せ物”で無産市民を私兵とし武力抗争。

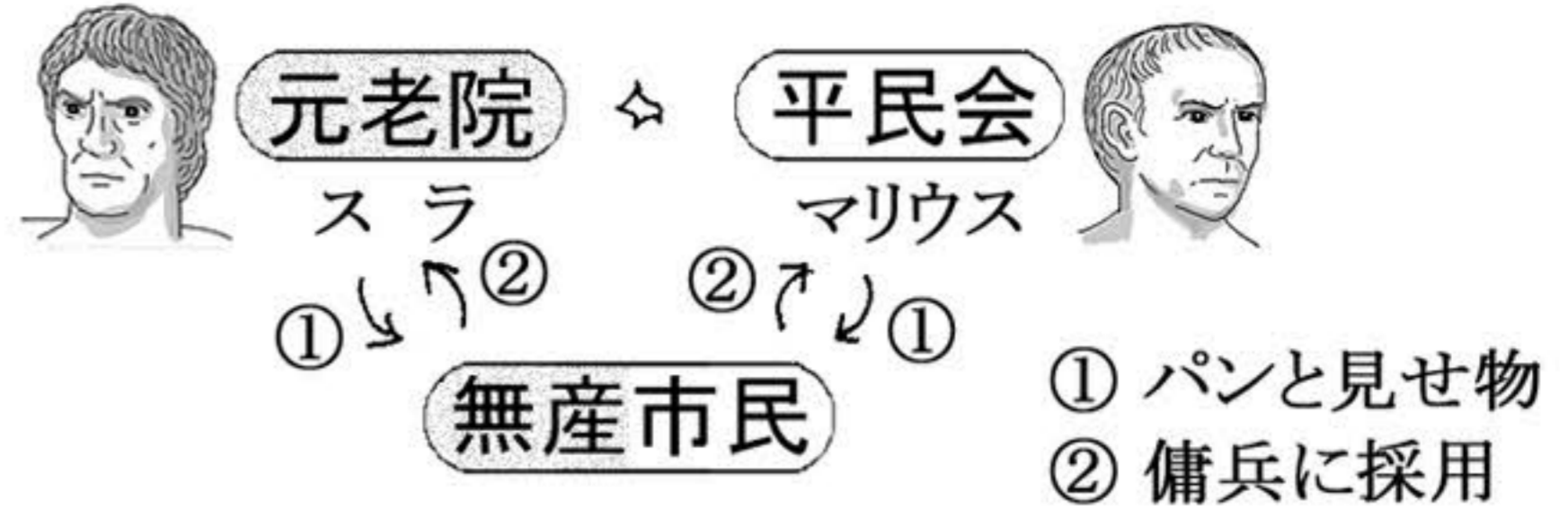


# 内乱の一世紀(前133～前30)

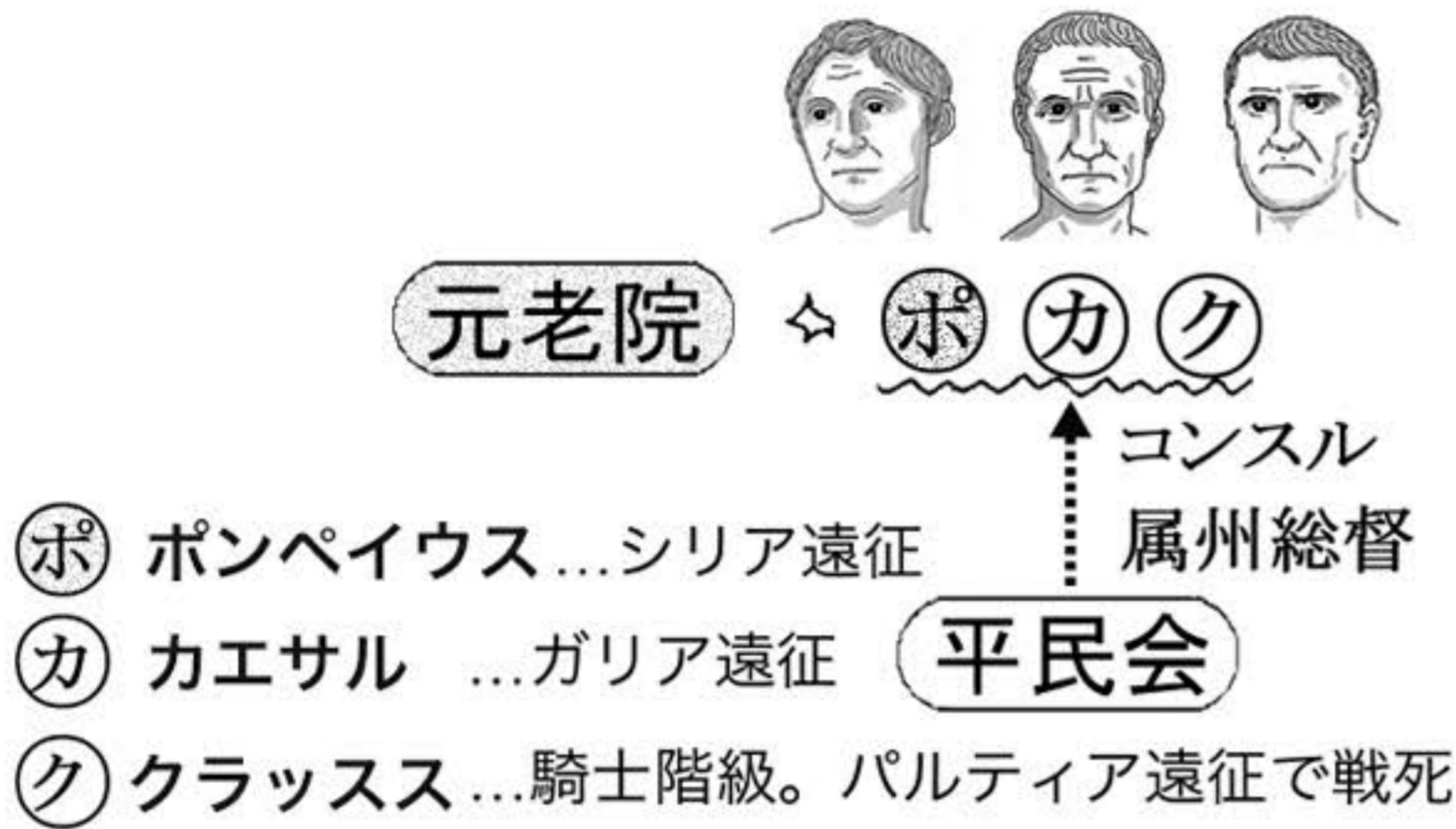
## 1 グラックス兄弟の改革(前133)



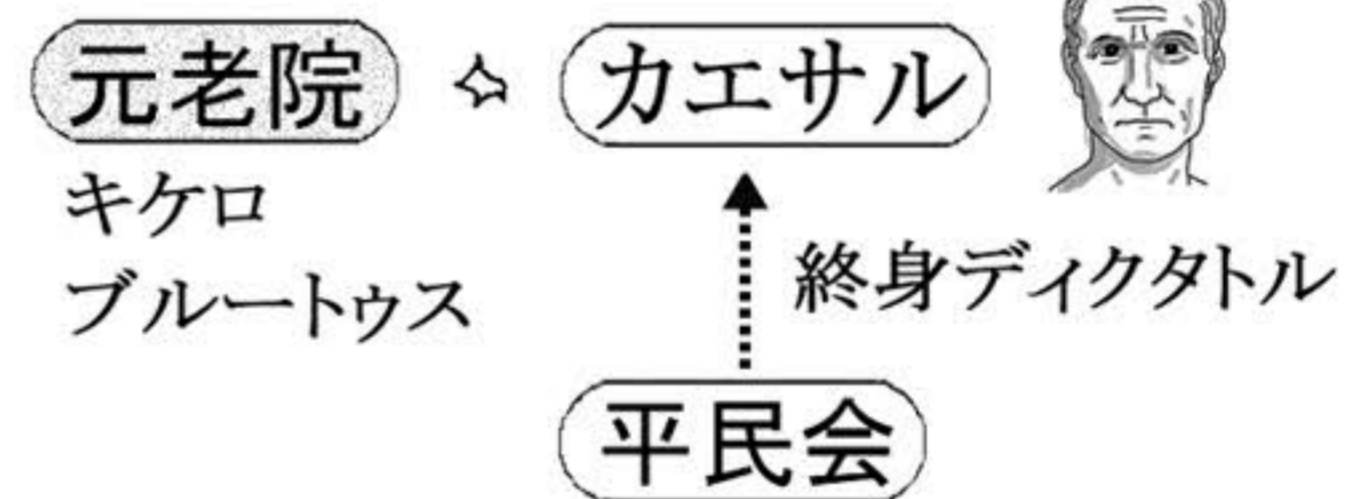
## 2 マリウスの軍制改革



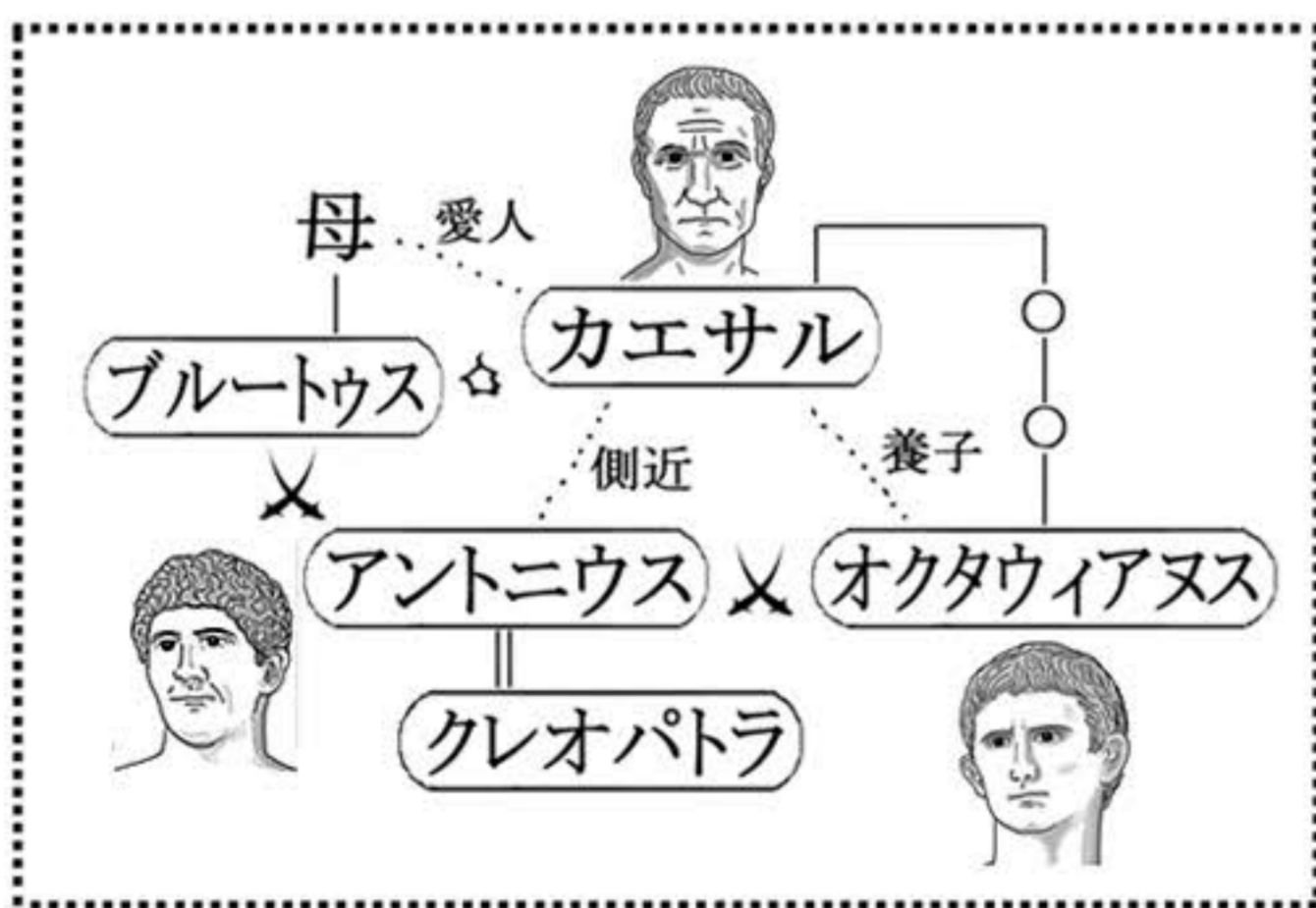
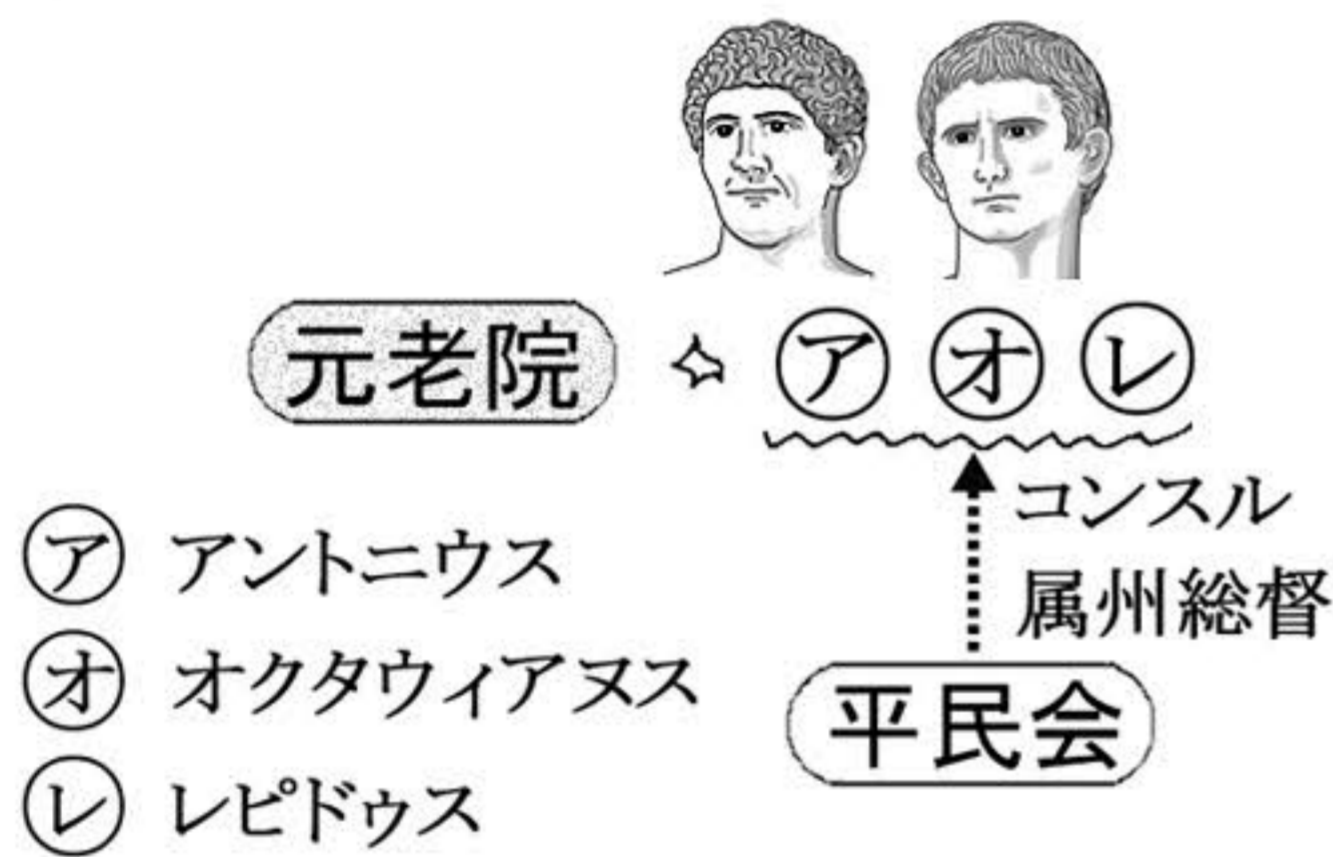
## 3 第1回三頭政治(前60-)



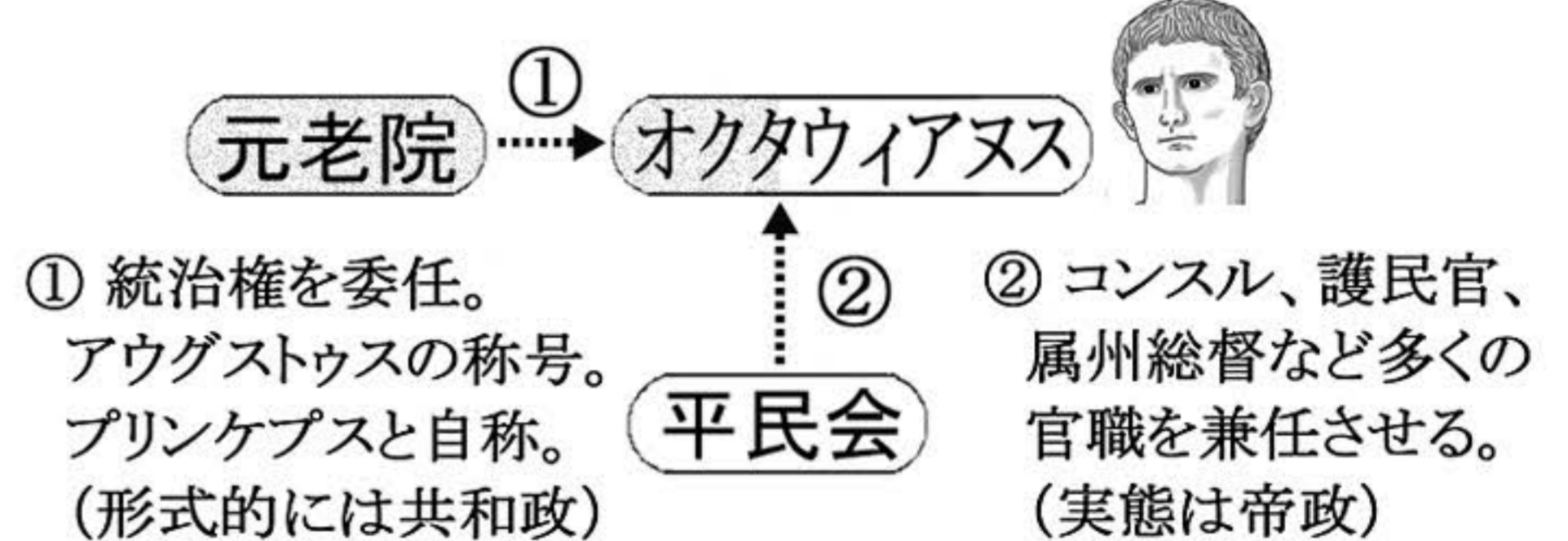
## 4 カエサル独裁(前46-)



## 5 第2回三頭政治(前44-)



## 6 元首政/プリンキパトゥス(前27-)



問 カエサルとオクタウィアヌスの政策の違いについて、以下の語句を用いて60字以内で説明しなさい。  
元老院 終身ディクタトル プリンケプス

### 共和政ローマ②

- 1 閥族
- 2 平民
- 3 マリウス
- 4 スラ
- 5 同盟市
- 6 ローマ市民権
- 7 クラッスス

- 8 スパルタクス
- 9 パルティア
- 10 ポンペイウス
- 11 セレウコス
- 12 カエサル
- 13 ガリア
- 14 クレオパトラ

- 15 ユリウス
- 16 ブルートゥス
- 17 オクタウィアヌス
- 18 アントニウス
- 19 レピドゥス
- 20 アクティウム
- 21 プトレマイオス

- 22 プリンキパトゥス
- 23 プリンケプス
- 24 共和
- 25 アウグストゥス

※ラテン語にはUとVの区別がない。Octavianusは「オクタウィアヌス」でも「オクタヴィアヌス」でも可。



解説動画

# 帝政ローマ

ユリウス・カエサル朝

1 **オクタウィアヌス** : 初代皇帝 / 元首 / <sup>プリンケプス</sup> **アウグストゥス** (前27-)。

後9 2 **の戦い** : ライン川を越えたローマ軍がゲルマン人に大敗。

⇒ **ローマの平和** (2 **の戦い**) : 3 **の戦い** 川・ドナウ川を国境に。

• **ティベリウス** : 2代。30? イエス処刑 : キリスト教の成立 ⇒ ペテロら12使徒の布教。

• 4 **の戦い** : 5代。暴君。ローマ大火 ⇒ キリスト教徒迫害 ⇒ 軍の反乱で自殺。

• **ティトウス** : **ユダヤ戦争①**を鎮圧(70)。ウェスヴィオス火山の噴火。コロッセウム完成。

2 c 5 **の戦い** 時代(96-180) : ローマ帝国の全盛期。帝位を養子相続。……

• 6 **ネルウア** : 元老院議員 ⇒ 66歳で皇帝に。軍人のトラヤヌスを養子、後継者に。

• 6 **の戦い** : 属州出身。7 **の戦い** (ルーマニア)・**メソポタミア**征服。最大領土。

• 8 **の戦い** : **ユダヤ戦争②**を鎮圧(132)。メソポタミアを放棄し、財政再建。

9 **の戦い** 北辺に**長城**、ローマ市に**万神殿**を建設。

• **アントニヌス=ピウス** : 最も平和な時代。救貧政策。キリスト教徒迫害も緩和。

• 10 **の戦い** : ストア派の哲人。ギリシア語で『**自省録**』。

⇒ 「アントニヌスの疫病」で帝国衰退。実子コンモドゥスが継承するが暴君化。

3世紀の危機 : 領土拡大の限界、戦争捕虜=奴隷の不足。属州の経済的自立。

<sup>ラティフンディア</sup>

① 奴隷制大農園 ⇒ 小作制 (11 **の戦い**) : 小作人 (12 **の戦い**) を使用。

② 軍事負担の増大 : 市民の兵役忌避 ⇒ 属州民を13 **の戦い** に採用、市民権付与。

• **セウェルス** : (193-) 属州北アフリカの出身。最初の軍人皇帝。

• 14 **の戦い** : 212 **アントニヌス勅令** : 属州の全自由民に15 **の戦い**。

⇒ イタリア本土と属州とが対等になる。市民法から16 **の戦い** へ。

☆ 17 **の戦い** 時代(235-284) : 属州の軍司令官が抗争。50年間に26人の皇帝が乱立。

• **ウァレリアヌス** : 260 18 **の戦い** 朝のシャープール1世に敗れ、捕虜になる。

☆ 専制君主政 (19 **の戦い**) : 皇帝の独裁化、神格化 (第一市民から主人へ)。

• 20 **の戦い** 帝 : 284- <sup>テトラルキア</sup> **四分統治**。東方正帝として小アジアのニコメディア遷都。

皇帝崇拜と官僚制。ペルシア風宮廷儀礼。キリスト教徒迫害。



トラヤヌス



ハドリアヌス



マルクス=アウレリウス

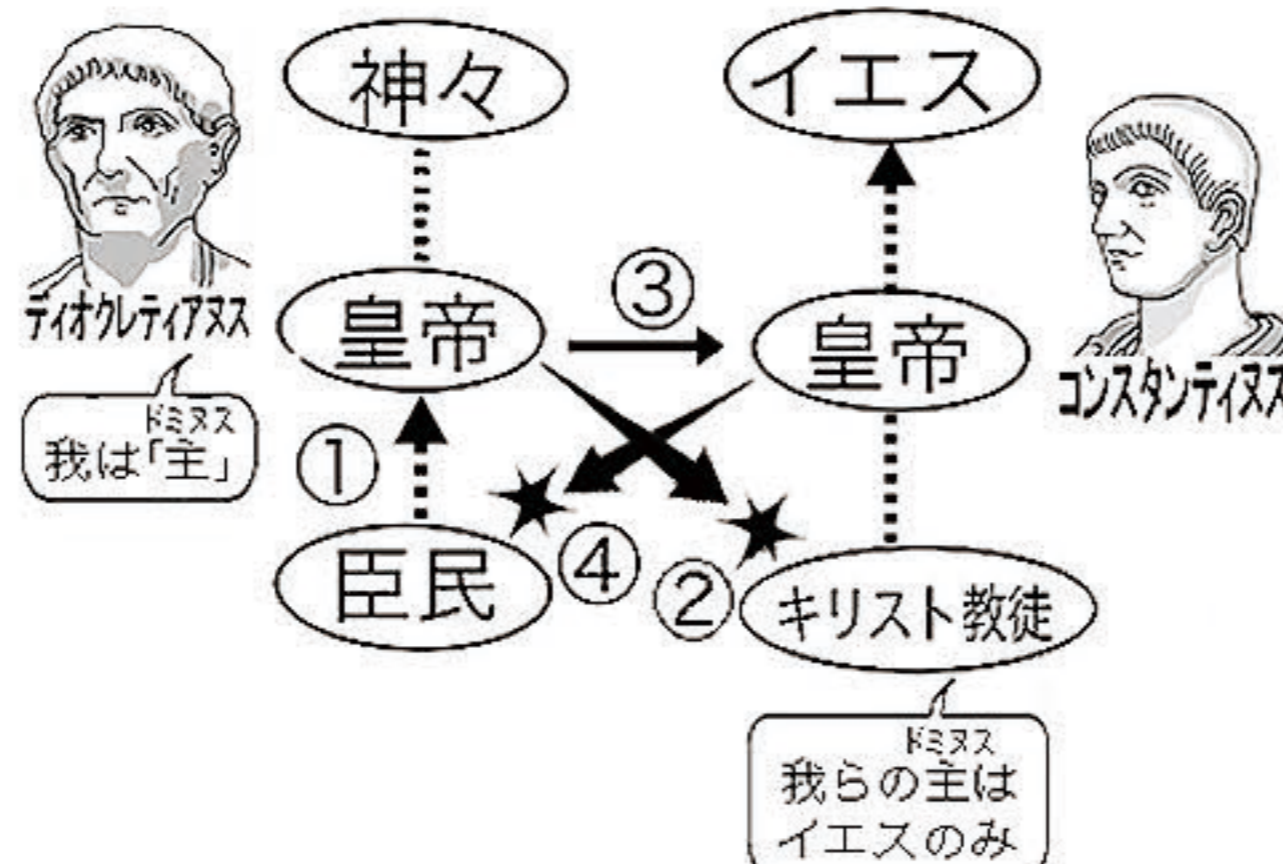


カラカラ



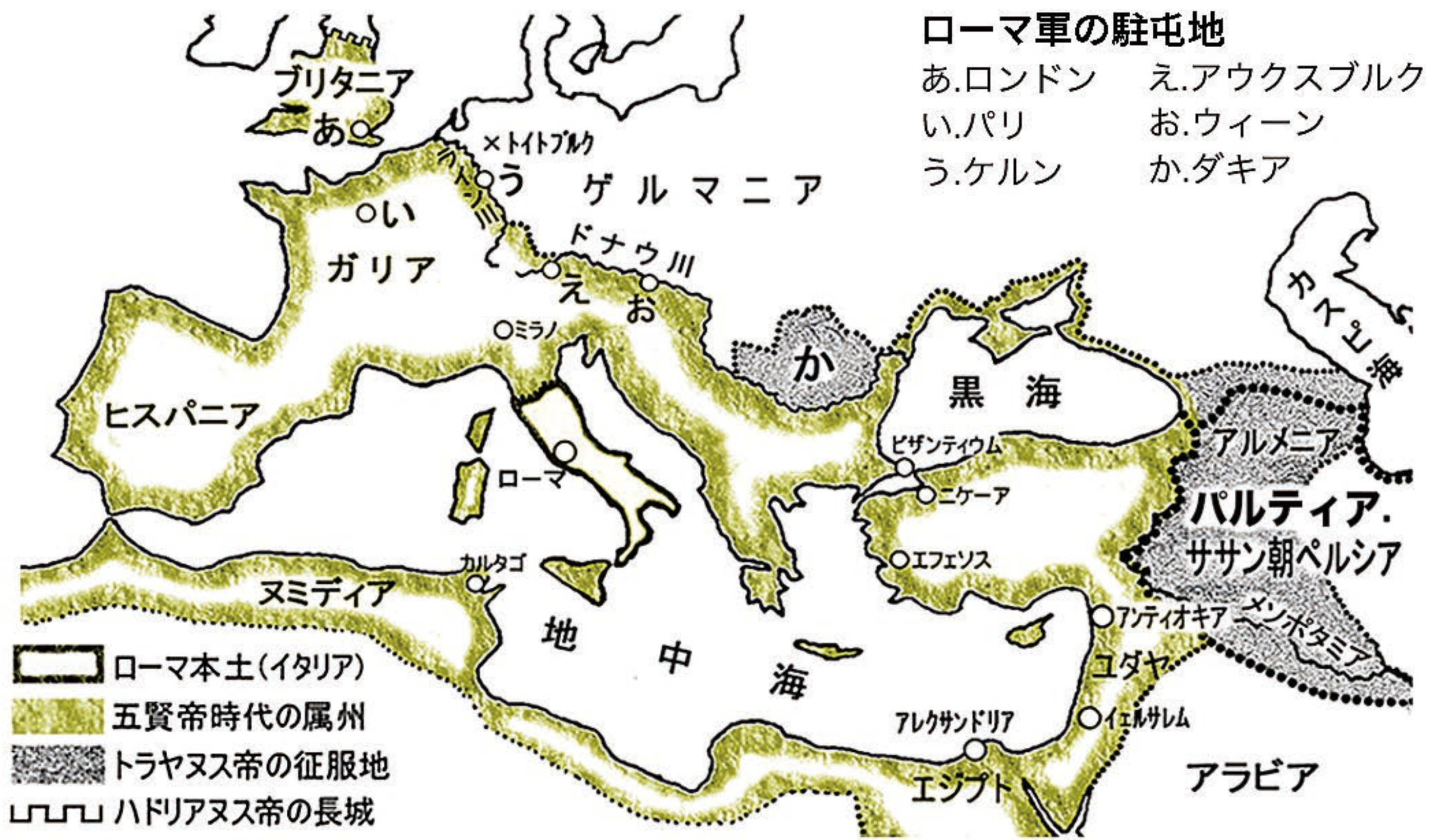
▲ドミナトゥス…皇帝は最高神ユピテルの化身として君臨し、神格化された。

## 専制君主政(ドミナトゥス)



- ① 皇帝崇拜を強制
- ② ディオクレティアヌス帝が迫害
- ③ コンスタンティヌス帝が
  - ・ミラノ勅令(313)でキリスト教公認
  - ・コンスタンティノーブル遷都
- ④ テオドシウス帝がキリスト教国教化 ⇒ 異教(多神教)を禁止(392)

ローマ帝国の対キリスト教政策の転換について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。  
多神教と皇帝崇拜 公認 国教



## 古代ローマの土地制度

前2c- ポエニ戦争期

1 \_\_\_\_\_  
 2 \_\_\_\_\_ を使役  
 3 \_\_\_\_\_ を栽培  
 (ぶどう・オリーブ)

穀物 (商業) ワイン  
 オリーブ油  
**属州**

後1-2c

パクス=ロマーナ期

- ・ 奴隷(捕虜)が不足  
⇒ 奴隷解放が進む
- ・ 属州が  
経済的に自立

3c 軍人皇帝時代

4 \_\_\_\_\_  
 ・ 小作人(5 \_\_\_\_\_)に  
土地を貸し、小作料徴収  
 ・ 自給用6 \_\_\_\_\_ を栽培

穀物 (商業) ワイン  
 オリーブ油  
**属州**

問 ローマにおける大土地  
 所有制度の変遷について、  
 以下の語句を用いて、90字  
 以内で説明しなさい。  
 奴隷 コロヌス 商品作物

【解答】 1 ラティフンディア 2 奴隷 3 商品作物 4 コロナトゥス 5 コロヌス 6 穀物



▲ フォロ=ロマーノ



▲ ガール水道橋



▲ ハドリアヌスの長城

## 帝政ローマ

- 1 トイトブルク森 2 パクス=ロマーナ 3 ライン 4 ネロ 5 五賢帝 6 トラヤヌス 7 ダキア  
 8 ハドリアヌス 9 ブリタニア 10 マルクス=アウレリウス=アントニヌス 11 コロナトゥス  
 12 コロヌス 13 傭兵 14 カラカラ 15 ローマ市民権 16 万民法 17 軍人皇帝 18 ササン  
 19 ドミナトゥス 20 ディオクレティアヌス

## キリスト教の成立

☆ユダヤ：セレウコス朝からハスモン朝が独立⇨ローマのポンペイウスに占領される。

⇨親ローマ派のヘロデ王の支配(前37-前4)⇨アウグストゥスがローマの属州に。

- (・サドカイ人<sup>びと</sup>：親ローマ派のユダヤ教大祭司。ローマの保護下で特権を守る。
- ・<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 人<sup>びと</sup>：反ローマ派の律法学者。律法の順守による救世主を待望。

後30頃 ガリラヤ地方の宗教家イエスが、律法を否定、“神の国”の到来を説く。

⇨律法学者の告発により、総督<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ は反逆罪でイエスを処刑。

☆キリスト教：“イエスの復活”を信じ、イエスを救世主<sup>キリスト</sup>、神の子と説く宗教。

- (・<sup>3</sup> \_\_\_\_\_：“十二使徒”の代表。エルサレムに最初の教団を組織。
- ・<sup>4</sup> \_\_\_\_\_：“異邦人の使徒”。ギリシア出身。信仰義認説、十字架上の贖罪説<sup>しよくざい</sup>。

64 <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ 帝の迫害：ローマ大火の責任を転嫁。ペテロ・パウロが殉教。

⇨ドミティアヌス帝の迫害⇨『ヨハネ黙示録』。地下墓地<sup>もくしろうく</sup> (<sup>6</sup> \_\_\_\_\_) で礼拝。

2c 『<sup>7</sup> \_\_\_\_\_』成立。4福音書・使徒行伝・書簡・黙示録。<sup>8</sup> \_\_\_\_\_ 語。

## ローマ帝国の衰退

・<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ 帝<sup>ドミナトゥス</sup>：284-専制君主政。皇帝崇拜を強制。キリスト教徒大迫害。

・<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 帝：313 <sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 勅令でキリスト教を<sup>12</sup> \_\_\_\_\_、迫害停止。

325 <sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 公会議：<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ 派を異端に。330 <sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 遷都。

・ユリアヌス帝<sup>はいきょうしゃ</sup>：“背教者”。ミトラ教に改宗、キリスト教弾圧。ペルシア遠征で戦死。

375- 民族大移動：ゲルマン人の西ゴート族が移動を開始。(⇨フン人の西進)

・<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 帝：380 キリスト教<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ 化、392 異教を禁止。395 帝国を東西分割。

381 コンスタンティノープル公会議：<sup>18</sup> \_\_\_\_\_ 派の三位一体説を正統に。

395- 西ローマ帝国：ゲルマン人の侵入続く。

410 西ゴート王アラリックがローマ市を略奪。

➦レオ1世：教皇(440-)。ローマの首位権を主張。

451 カタラウヌムの戦い：フン人の侵攻を撃退。

476 ゲルマン人傭兵隊長オドアケルが皇帝を追放。

395- 東ローマ帝国

431 <sup>19</sup> \_\_\_\_\_ 公会議

：<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ 派追放。

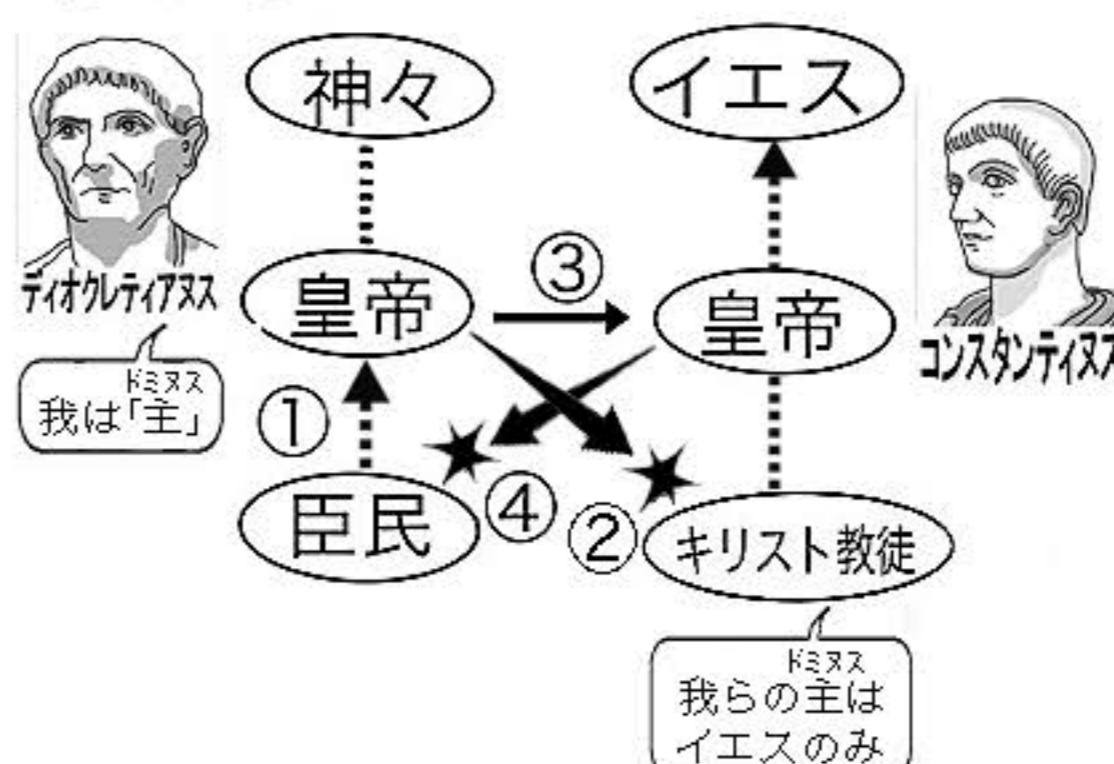
451 <sup>21</sup> \_\_\_\_\_ 公会議

：単性論派(コプト派)を追放。

(解答)

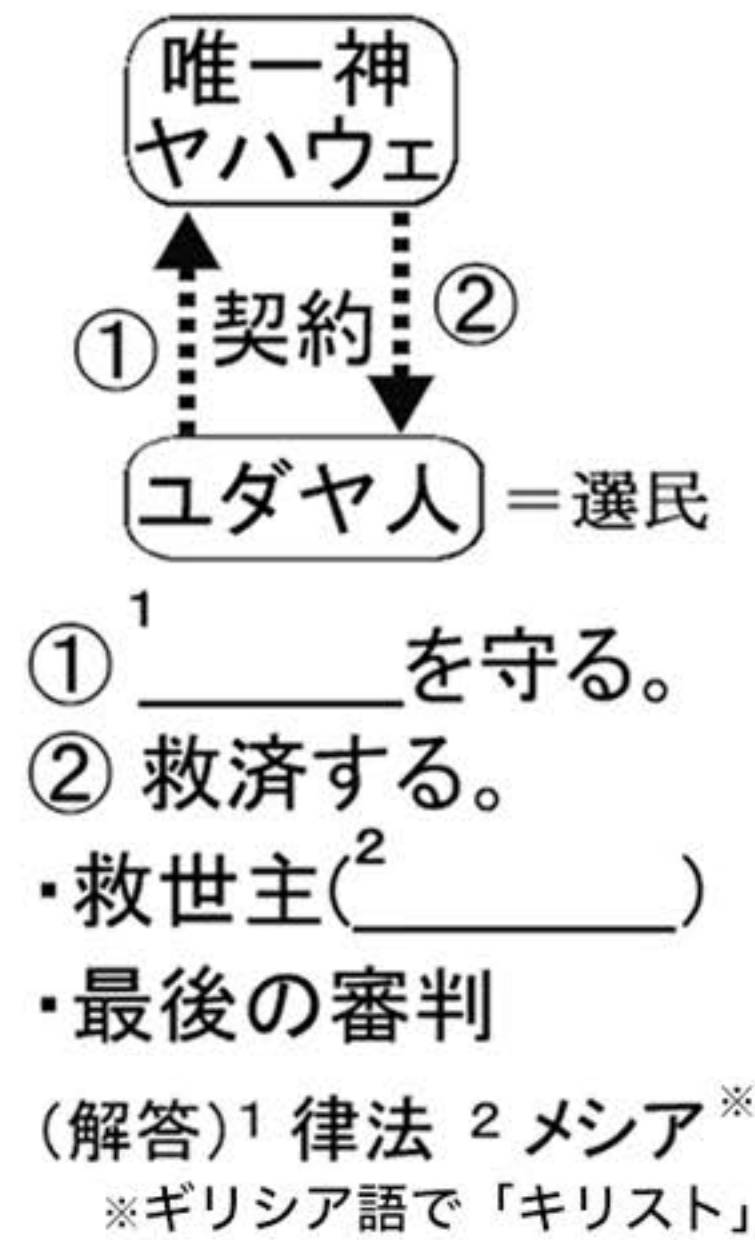
- 1 パリサイ 2 ポンティウス=ピラトゥス
- 3 ペテロ 4 パウロ 5 ネロ 6 カタコンベ
- 7 新約聖書 8 ギリシア 9 ディオクレティアヌス
- 10 コンスタンティヌス 11 ミラノ 12 公認
- 13 ニケーア 14 アリウス 15 コンスタンティノープル
- 16 テオドシウス 17 国教 18 アタナシウス
- 19 エフェソス 20 ネストリウス 21 カルケドン

### 専制君主政(ドミナトゥス)

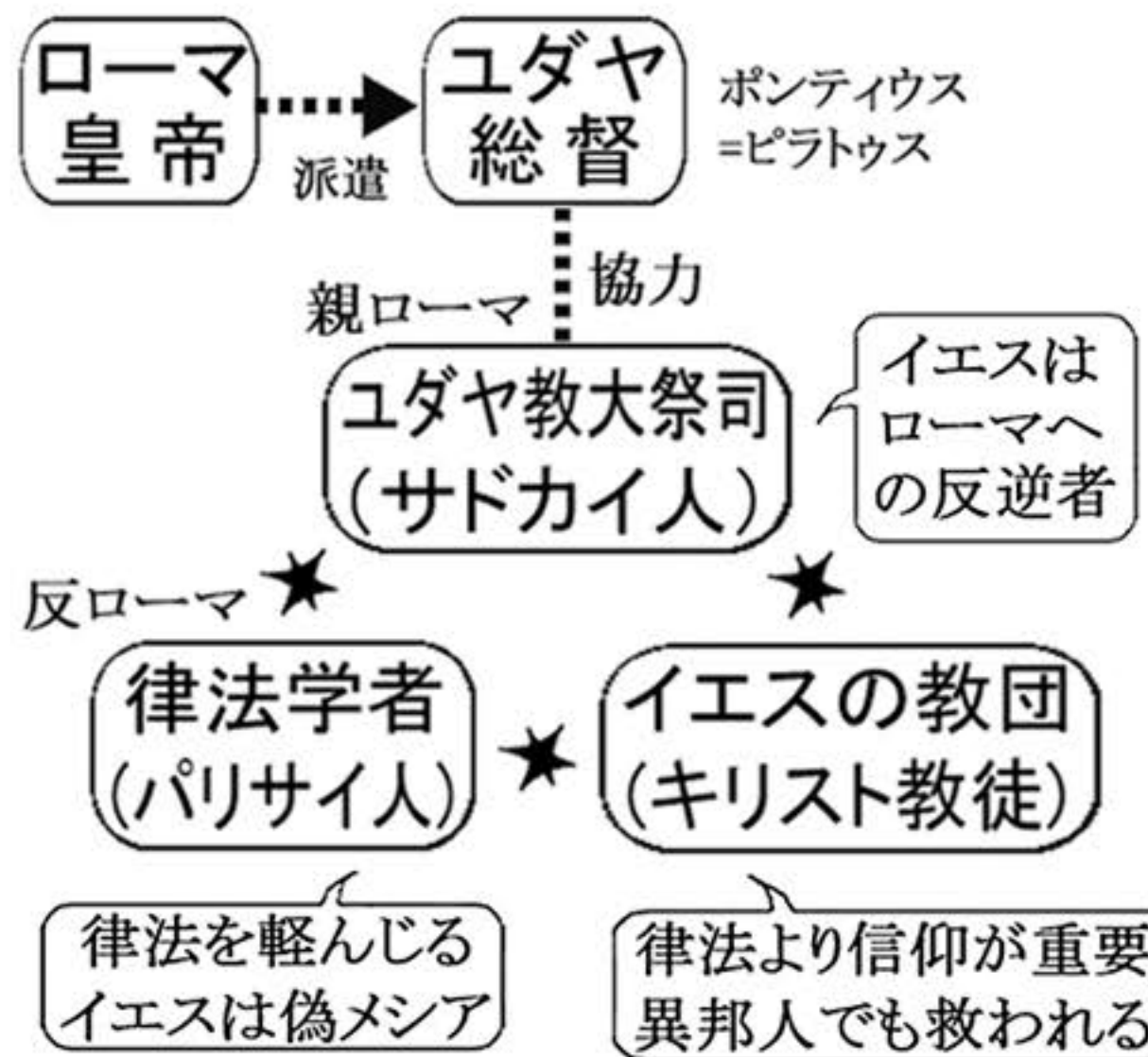


- ① 皇帝崇拜
- ② ディオクレティアヌス帝の迫害
- ③ コンスタンティヌス帝が  
・ミラノ勅令(313)でキリスト教公認  
・コンスタンティノープル遷都
- ④ テオドシウス帝がキリスト教国教化  
⇒異教を禁止(392)

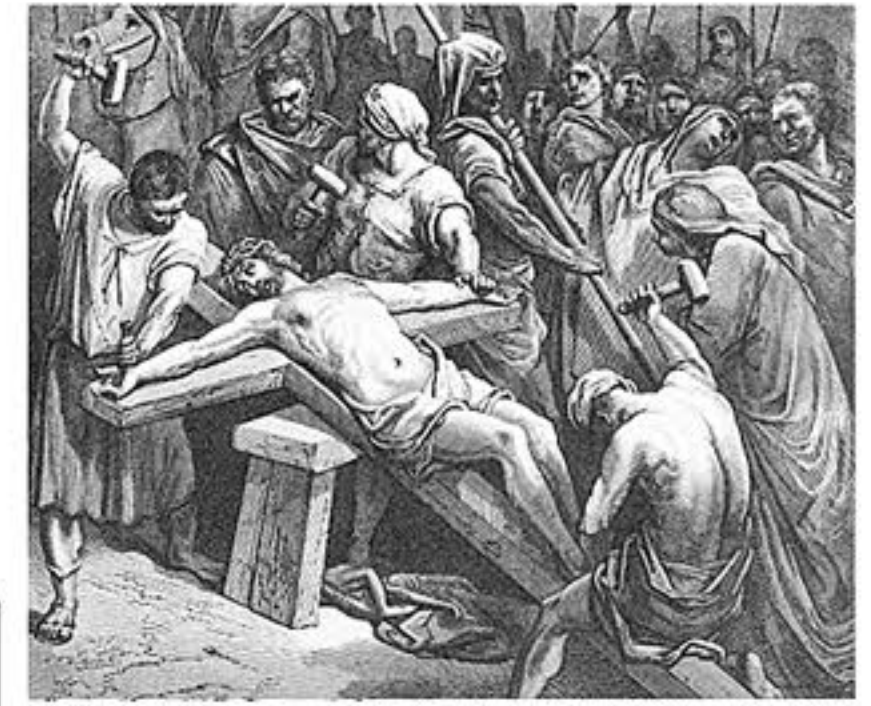
## ユダヤ教の思想



## ローマ支配下のユダヤ



▲最後の晩餐



▲イエスの磔刑(たっけい)

## 『新約聖書』 the New Testament

……2世紀に成立。1 \_\_\_\_\_ 語(コイネー)で記録。

- (1) 4つの2 \_\_\_\_\_ Gospel
- ・イエスの生涯。マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの4人が記録。
  - ・生誕、山上の垂訓、最後の晩餐、裁判、処刑、復活まで。

- (2) 3 \_\_\_\_\_ Acts of the Apostles

・十二使徒の代表4 \_\_\_\_\_、  
「異邦人の使徒」5 \_\_\_\_\_ の伝道記録。

- (3) 5 \_\_\_\_\_ の書簡 Pauline Epistles

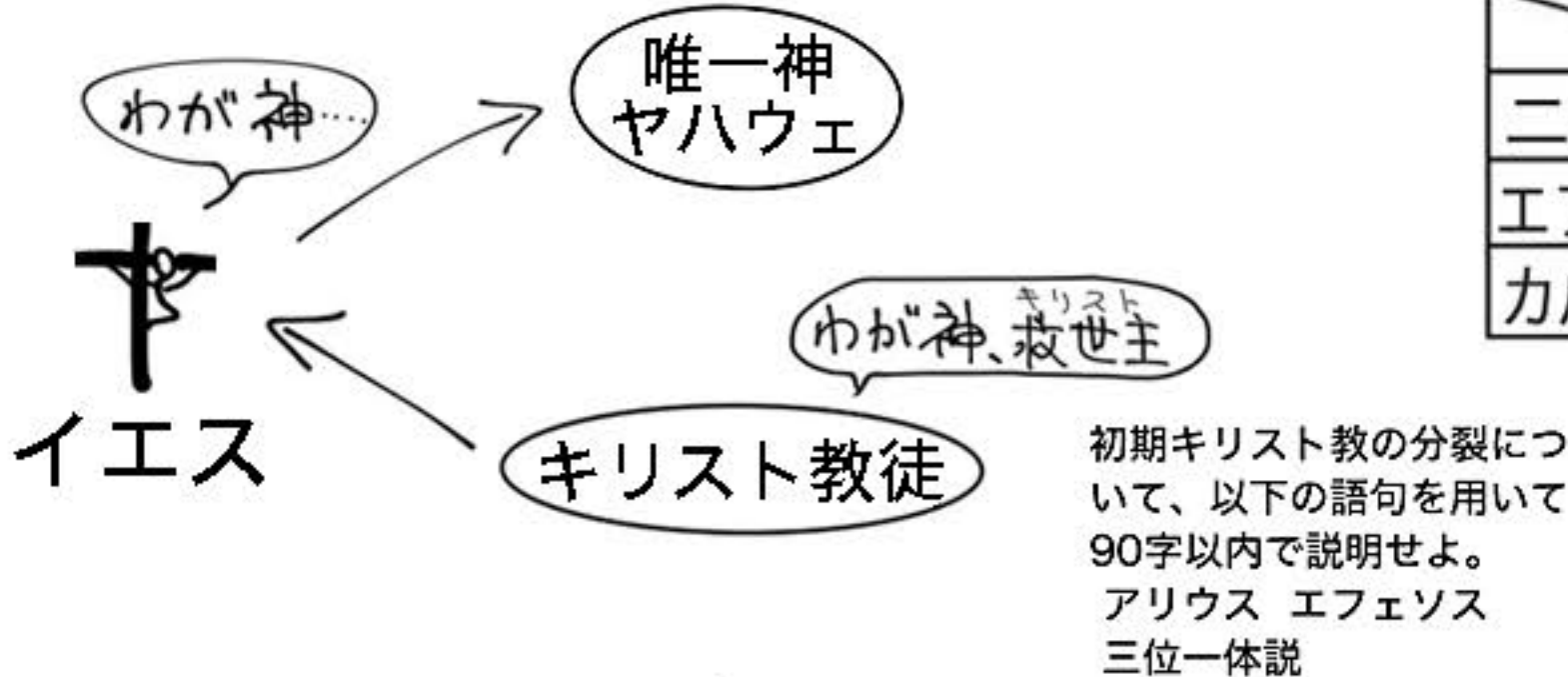
・各地の教会へ宛てた手紙。キリスト教の教義を理論化。

- (4) ヨハネ黙示録 Revelation of John

・世界の終末、最後の審判、「神の国」の到来を描く。

(解答) 1. ギリシア 2. 福音書 3. 使徒行伝 4. ペテロ 5. パウロ

## キリスト教の正統と異端



① \_\_\_\_\_

神  
マリア イエス

② \_\_\_\_\_

神  
マリア イエス

③ \_\_\_\_\_

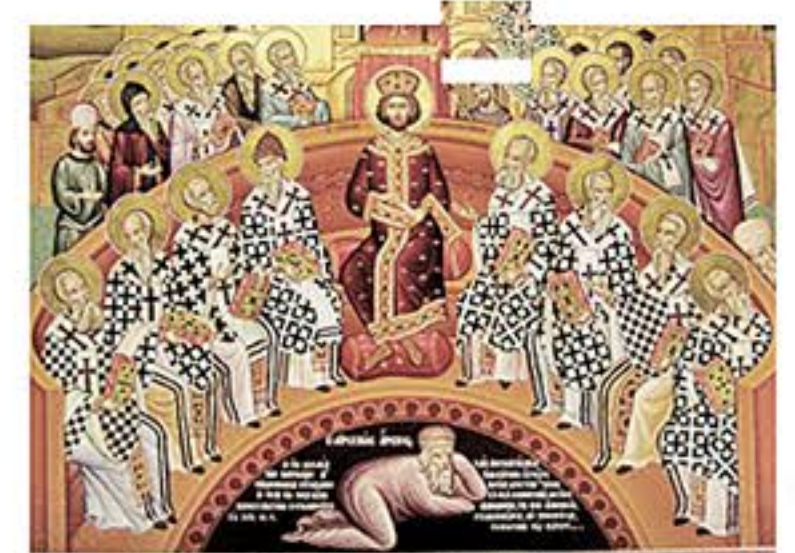
神  
マリア イエス

④ \_\_\_\_\_

神  
マリア イエス

## 主な公会議と異端

	①	②	③	④
ニケーア				
エフェソス				
カルケドン				



▲ニケーア公会議(325)を描いた聖像画。アリウス(下方)を異端として断罪した。

